

データ分析事業結果報告書

平成30年3月

保険者協議会企画調査部会



目次

1. はじめに	P1
2. 健診個人データについて	P2
3. データ分析内容について	P4
4. データ集計結果	P8
5. 分析結果	P39
6. 考察	P48

1. はじめに

○栃木県・栃木県医師会・栃木県保険者協議会で糖尿病重症化予防に係る連携協定を締結し、平成28年12月に栃木県糖尿病重症化予防プログラムが策定されました。

○本プログラムにおける栃木県保険者協議会の役割として、事業の円滑な実施に協力するものとする規定されていることもあり、栃木県保険者協議会企画調査部会のデータ分析事業において、構成医療保険者から法定報告の健診個人データを提供いただき、本プログラムに規定される基準に分類される被保険者(加入者)がどの程度存在するかを独自に集計することになりました。

○分析結果を取りまとめましたので、医療保険者における糖尿病重症化予防事業の取り組みの参考となれば幸いです。

○分析アドバイザーを引き受けていただいた、獨協医科大学看護学部在宅看護学 准教授 種市ひろみ先生には、ご多用のところ様々な助言をいただきまして、この場をお借りしまして改めてお礼申し上げます。

2. 健診個人データについて

(1) 保険者への依頼内容

① 対象保険者

栃木県保険者協議会を構成する44保険者のうち支部組合を除く42医療保険者

② 対象年度

平成26年度法定報告分の健診個人データ

③ 提供依頼内容

各検査項目の値、質問票の回答のほか、栃木県糖尿病重症化予防プログラムの分類基準となるeGFR、被保険者(加入者)の居住地を判別するための郵便番号

(2) データ集約状況について

① データ提供保険者

42保険者中35保険者よりデータ提供

② データ提供人数

308,061人分の健診データを集約

※医療保険者システムの仕様等により、35保険者中6保険者については栃木県糖尿病重症化予防プログラムの基準であるeGFRが未提供、5保険者については郵便番号が未提供の状況

(データ提供保険者一覧)

栃木県市町国民健康保険(25)	全国健康保険協会栃木支部	レオン自動機健康保険組合
全国歯科医師国民健康保険組合	足利銀行健康保険組合	地方職員共済栃木県支部
栃木県医師国民健康保険組合	栃木銀行健康保険組合	公立学校職員共済栃木支部
栃木県後期高齢者医療広域連合	栃木トヨペットグループ健康保険組合	

3. データ分析内容について

(1) 栃木県糖尿病重症化予防プログラム基準

※プログラムに規定される抽出基準(健診データ)より

○糖尿病境界域段階

空腹時血糖100mg/dl以上126mg/dl 未満又はHbA1c5.6%以上6.5%未満の者

○糖尿病重症化予防段階

空腹時血糖126mg/dl(随時血糖200mg/dl) 以上又はHbA1c6.5%以上の者

○糖尿病性腎症重症化予防段階

糖尿病重症化予防段階の基準を満たす者のうち

尿蛋白(±)以上又はeGFR60ml/分/1.73 m²未満の者

(2) データ分析内容

栃木県糖尿病重症化予防プログラムに規定される、糖尿病境界域段階・糖尿病重症化予防段階・糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される被保険者(加入者)を集計し、その他、糖尿病と関連のある以下のリスクの保有状況を併せて集計しました。

各段階に分類された被保険者(加入者)のうち、

○質問票で「糖尿病服薬あり」「糖尿病服薬なし」と回答した者の集計

○「メタボリックシンドロームリスクあり(※1)」と判定された者の集計

○「血圧リスクあり(※2)」と判定された者の集計および質問票で「血圧服薬あり」・「血圧服薬なし」と回答した者の集計

○質問票で「喫煙あり」と回答した者の集計

○「血圧リスクあり」「喫煙あり」と回答した者の集計

※1: メタボリックシンドロームリスクありの定義について

⇒標準的な健診・保健指導プログラムにおいて、特定保健指導の対象となる「腹囲が85cm以上(男性)・90cm以上(女性)の者又は腹囲が85cm未満(男性)・90cm未満(女性)の者でBMIが25 kg/m²以上の者」をメタボリックシンドロームリスクありとしています。

※2: 血圧リスクありの定義について

⇒特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引きにおいて、特定保健指導の対象となる「収縮期130mmHg以上又は拡張期85mmHg以上の者」を血圧リスクありとしています。

(3) 留意事項

○あくまでも保険者より提供いただいたデータを栃木県糖尿病重症化予防プログラムの基準値に照らし合わせ分類・集計したものであり、レセプトデータとの突合は行えなかったため各基準に分類された被保険者(加入者)の受療状況は不明です。

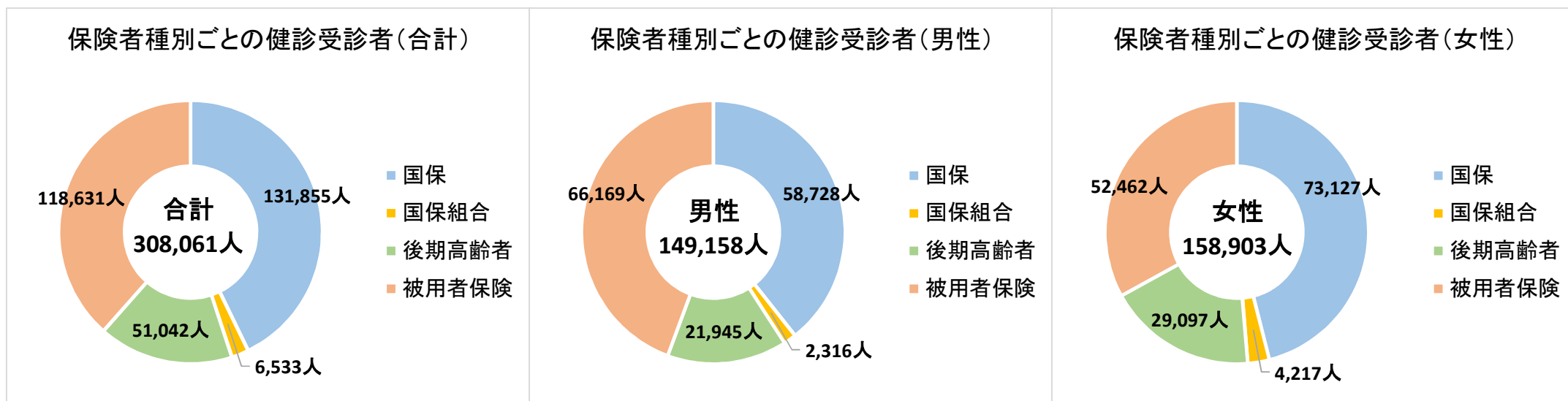
○糖尿病性腎症重症化予防段階に分類された人数について、eGFR未提出の保険者の被保険者(加入者)においては、判定項目を尿蛋白のみで分類しています。このため、集計人数については、プログラム基準に沿った正確な人数ではありません。

○提供いただいた35保険者の全データに郵便番号を保持していなかったため、今回のデータ分析では栃木県全体の集計のみとしました。また、被保険者(加入者)によっては他都道府県に居住している場合もありますが、今回の集計ではすべて栃木県在住とみなして集計していますので、必ずしも栃木県全体での正確な人数ではありません。

4. データ集計結果

(1) 健診個人データの集約状況

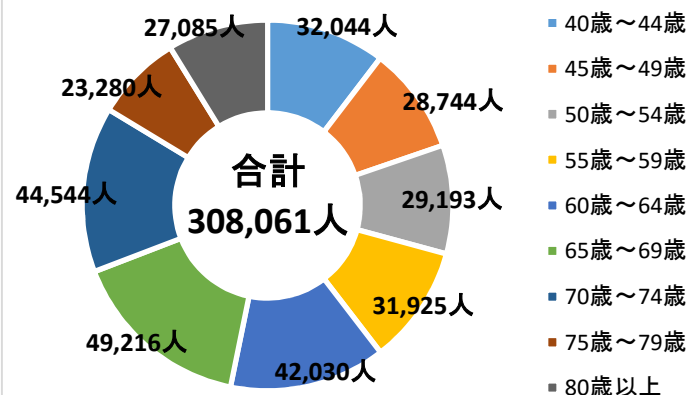
① 保険者種別ごとの健診受診者数



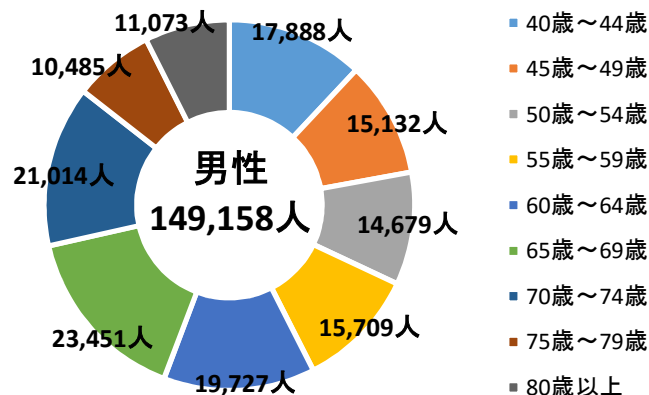
今回集約できた健診受診者は、男女合計で308,061人、そのうち男性は149,158人、女性は158,903人となっていました。男女別でみると、男性では被用者保険者、女性では国保の健診受診者が最も多い状況でした。

②年齢階層別健診受診者数

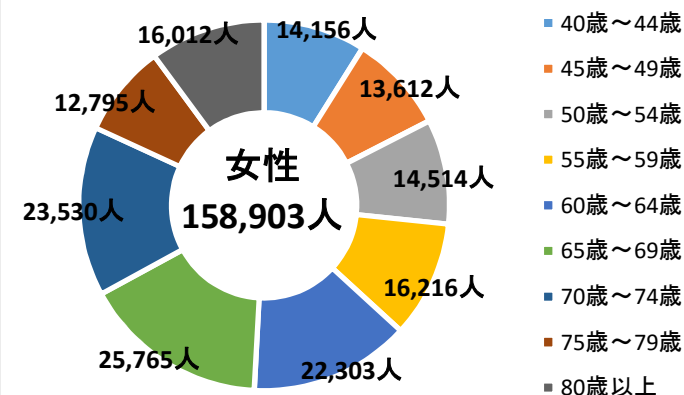
年齢階層別健診受診者(合計)



年齢階層別健診受診者(男性)

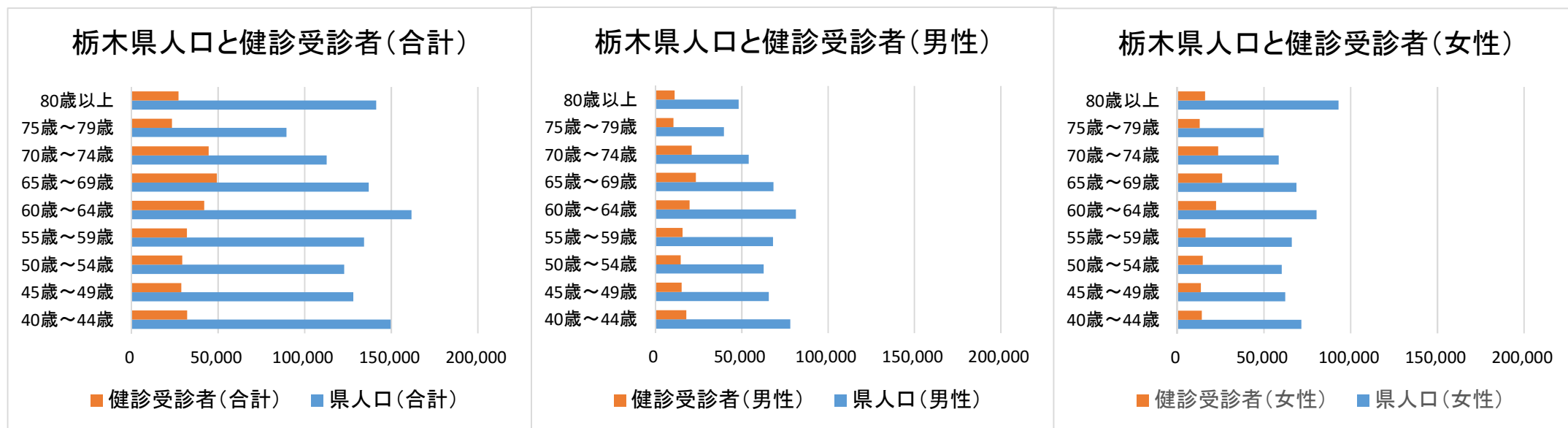


年齢階層別健診受診者(女性)



今回集約できた健診受診者を男女合計・男女別の年齢階層別で見ると、男女合計・男性・女性いずれにおいても、65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

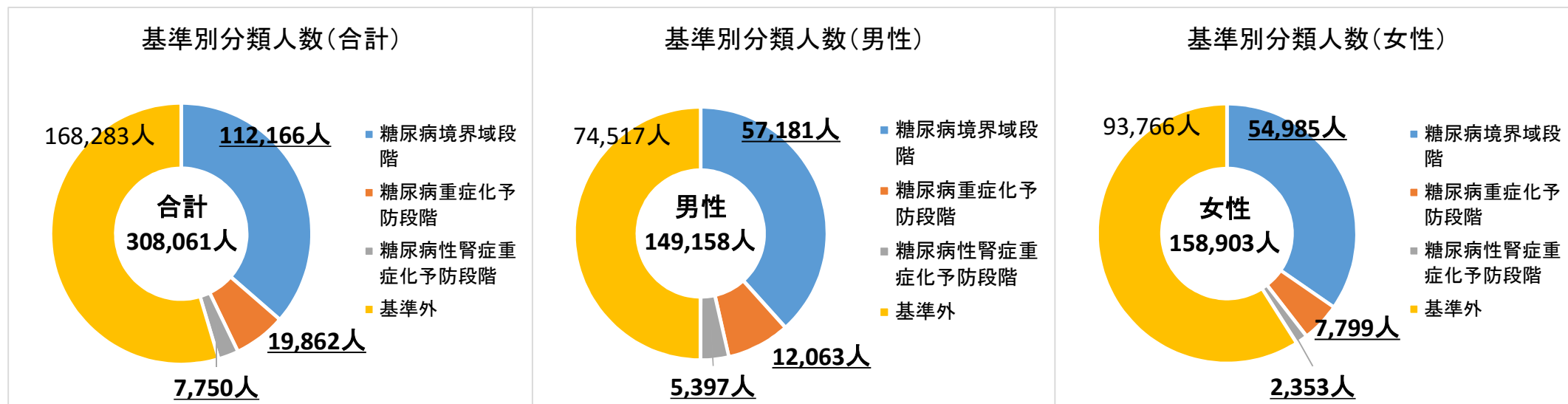
③栃木県人口と健診受診者数の比較



平成26年度法定報告時に最も近い平成26年1月1日時点の栃木県の人口について、健診対象となる40歳以上の人数は男女合計1,1176,416人、男性は566,489人、女性は609,927人となっています(県統計課資料)。

今回集約できた健診受診者男女合計308,061人(男性:149,158人 女性:158,903人)の栃木県人口に対する割合をみると、男女合計で26.2%、男性で26.3%、女性で26.1%となっており、栃木県内の全健診対象者の1/4のデータを集めることができました。

(2) 栃木県糖尿病重症化予防プログラム基準別の分類人数



栃木県糖尿病重症化予防プログラムの基準別に分類される人数を男女合計・男性・女性別にみると、男女合計では健診受診者308,061人中139,778人がいずれかの基準に分類され、割合は45.4%となっている状況でした。

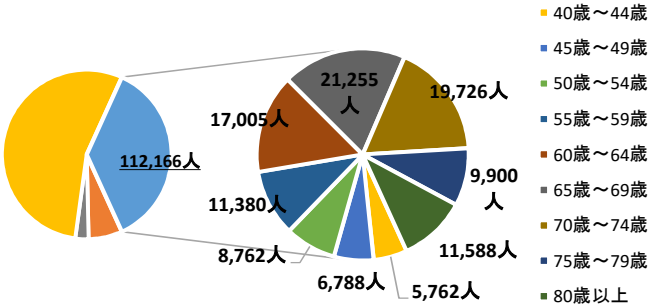
男女別でみると、男性では健診受診者149,158人中74,641人がいずれかの基準に分類され、割合は50%、女性では健診受診者158,903人中65,137人がいずれかの基準に分類され、割合は41%となっている状況でした。

プログラム基準別でみると、男性・女性ともに糖尿病境界域段階に分類される人が多い状況でした。

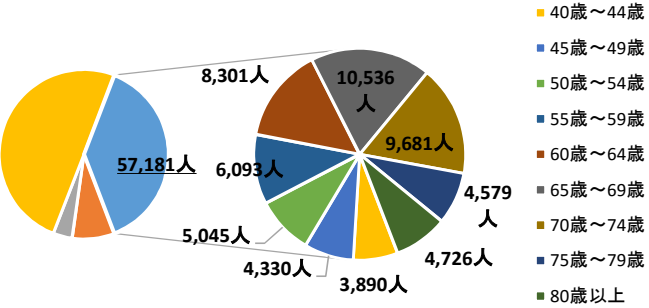
(3) 糖尿病境界域段階

① 年齢階層別の分類人数

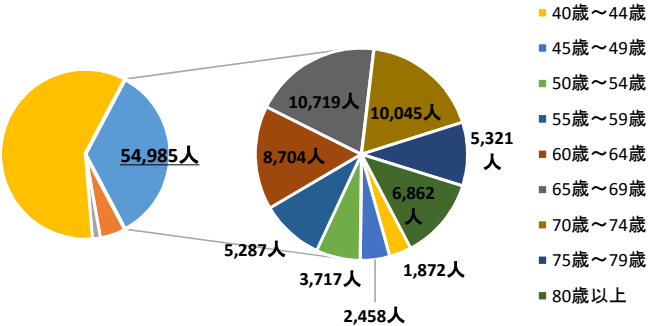
糖尿病境界域段階
年齢階層別人数(合計)



糖尿病境界域段階
年齢階層別人数(男性)



糖尿病境界域段階
年齢階層別人数(女性)

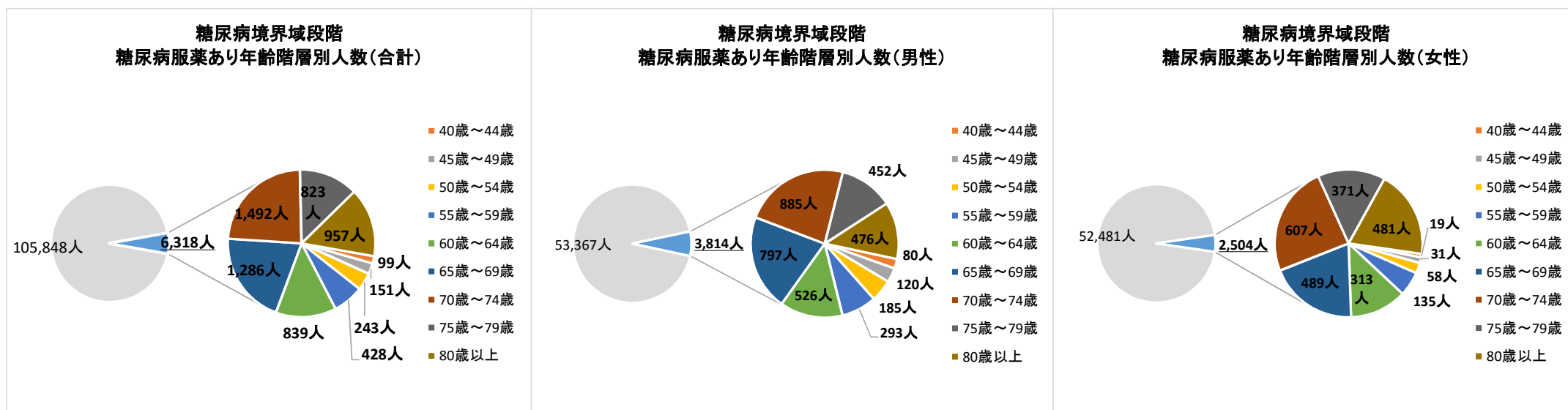


糖尿病境界域段階に分類される人数を男女合計・男性・女性別にみると、男女合計では健診受診者308,061人中112,166人で、健診受診者に対する割合は36.4%となっています。

男女別でみると、男性では健診受診者149,158人中57,181人で、割合は38.3%、女性では健診受診者158,903人中54,985人で、割合は34.6%となっています。

年齢階層別にみると、合計・男性・女性いずれも65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

②糖尿病服薬ありと回答した人数

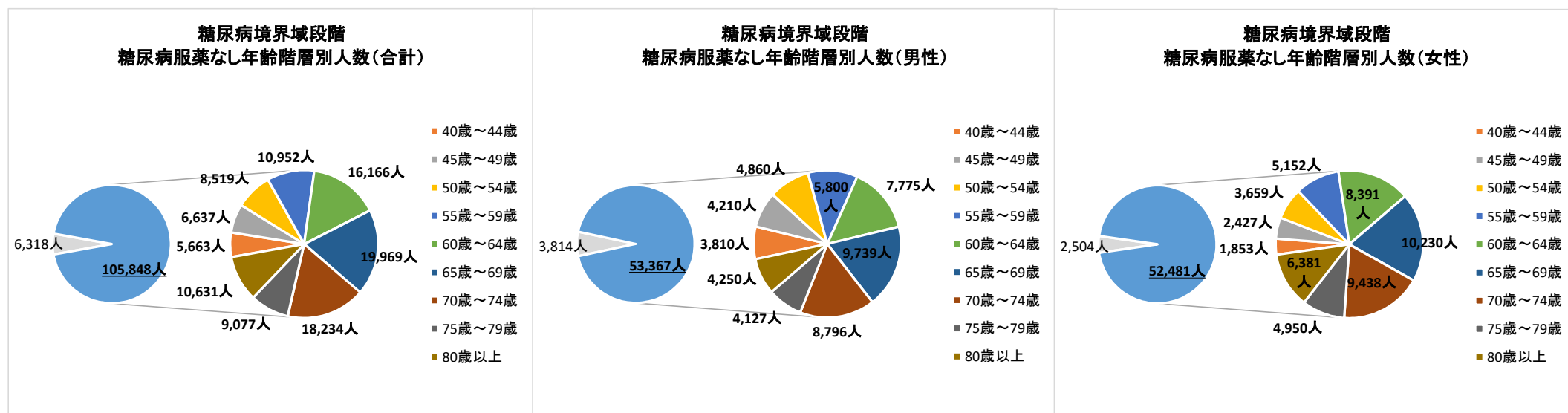


男女合計では、糖尿病境界域段階に分類される112,166人中6,318人が糖尿病服薬ありと回答しており、割合で見ると5.6%となっています。年齢階層別にみると70歳～74歳、65歳～69歳、80歳以上の順に人数が多い状況でした。

男女別で見ると、男性では糖尿病境界域段階に分類される57,181人中3,814人が糖尿病服薬ありと回答しており、割合で見ると6.7%となっています。年齢階層別にみると70歳～74歳、65歳～69歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

女性では糖尿病境界域段階に分類される54,985人中2,504人が糖尿病服薬ありと回答しており、割合で見ると4.6%となっています。年齢階層別にみると70歳～74歳、65歳～69歳、80歳以上の順に人数が多い状況でした。

③糖尿病服薬なしと回答した人数



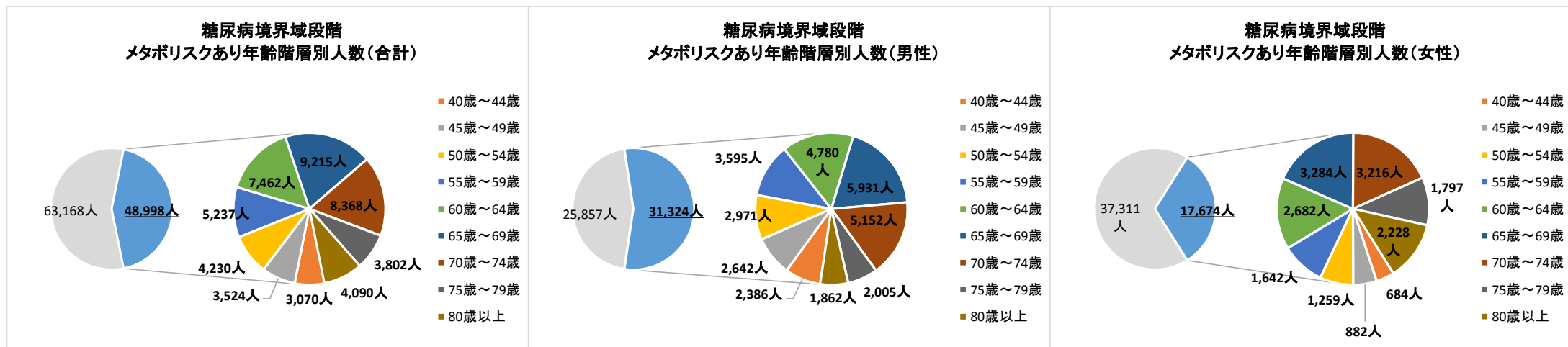
男女合計では、糖尿病境界域段階に分類される112,166人中105,848人が糖尿病服薬なしと回答しており、割合で見ると94.4%となっています。

男女別で見ると、男性では糖尿病境界域段階に分類される57,181人中53,367人が糖尿病服薬なしと回答しており、割合で見ると93.3%となっています。

女性では糖尿病境界域段階に分類される54,985人中52,481人が糖尿病服薬なしと回答しており、割合で見ると95.4%となっています。

合計・男性・女性いずれも年齢階層別にみると、65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

④メタボリックシンドロームリスク保有者数



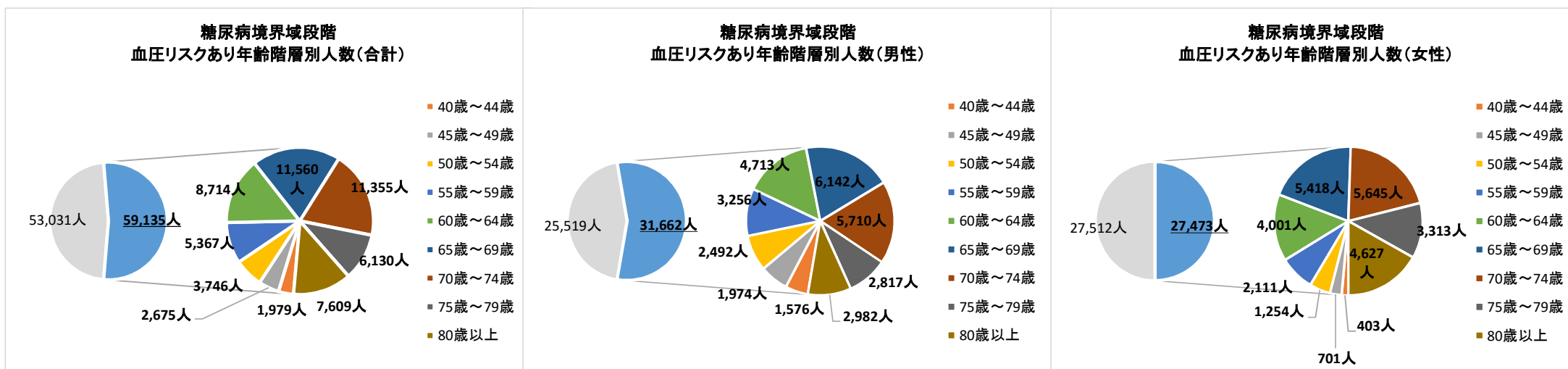
男女合計では、糖尿病境界域段階に分類される112,166人中48,998人がメタボリックシンドロームリスク保有者※で、割合でみると43.7%となっています。

男女別でみると、男性では糖尿病境界域段階に分類される57,181人中31,324人がメタボリックシンドロームリスク保有者で、割合でみると54.8%となっています。

女性では糖尿病境界域段階に分類される54,985人中17,674人がメタボリックシンドロームリスク保有者で、割合でみると32.1%となっています。

合計・男性・女性いずれも年齢階層別にみると、65歳～69歳、60歳～64歳、70歳～74歳の順に人数が多い状況でした。

⑤ 血圧リスクありの人数

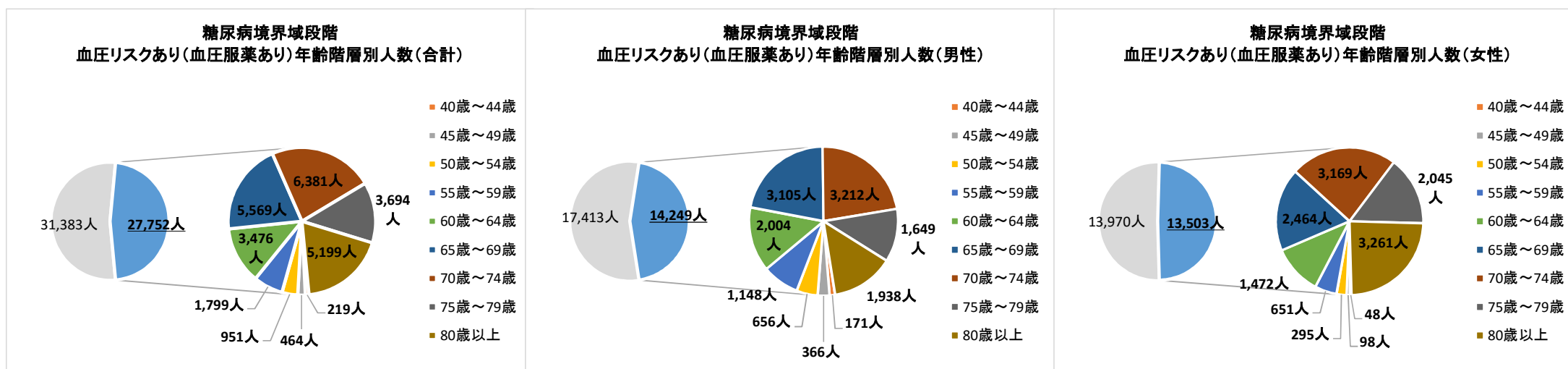


男女合計では、糖尿病境界域段階に分類される112,166人中59,135人が血圧リスク保有者で、割合で見ると52.7%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

男女別で見ると、男性では糖尿病境界域段階に分類される57,181人中31,662人が血圧リスク保有者で、割合で見ると55.4%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

女性では糖尿病境界域段階に分類される54,985人中27,473人が血圧リスク保有者で、割合で見ると50%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、80歳以上の順に人数が多い状況でした。

⑥ 血圧リスクあり・血圧服薬ありと回答した人数

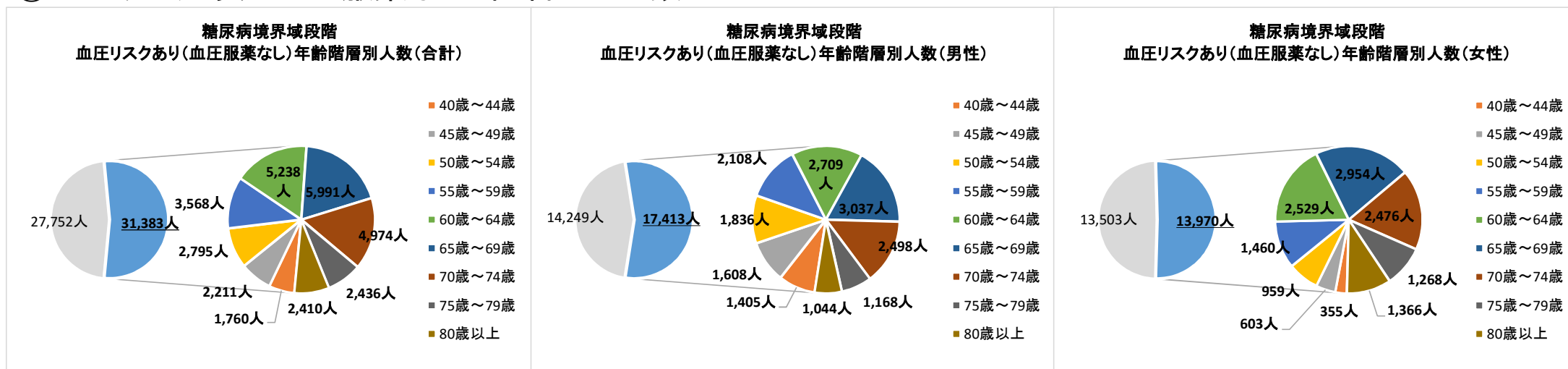


男女合計では、血圧リスク保有者59,135人中27,752人が血圧服薬ありと回答しており、割合で見ると46.9%となっています。年齢階層別にみると70歳～74歳、65歳～69歳、80歳以上の順に人数が多い状況でした。

男女別で見ると、男性では血圧リスク保有者31,662人中14,249人が血圧服薬ありと回答しており、割合で見ると45%となっています。年齢階層別にみると70歳～74歳、65歳～69歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

女性では血圧リスク保有者27,473人中13,503人が血圧服薬ありと回答しており、割合で見ると49.2%となっています。年齢階層別にみると80歳以上、70歳～74歳、65歳～69歳の順に人数が多い状況でした。

⑦ 血圧リスクあり・血圧服薬なしと回答した人数



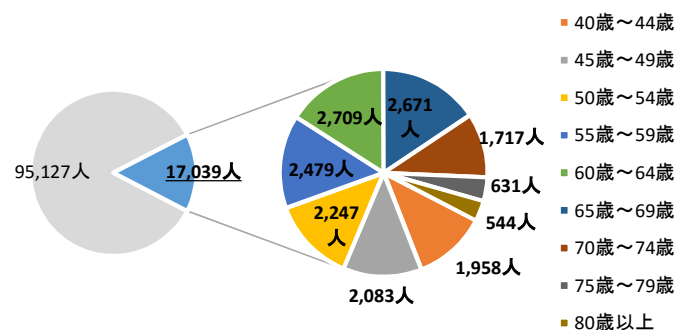
男女合計では、血圧リスク保有者59,135人中31,383人が血圧服薬なしと回答しており、割合で見ると53.1%となっています。

男女別にみると、男性では血圧リスク保有者31,662人中17,413人が血圧服薬なしと回答しており、割合で見ると55%となっています。女性では血圧リスク保有者27,473人中13,970人が血圧服薬なしと回答しており、割合で見ると50.8%となっています。

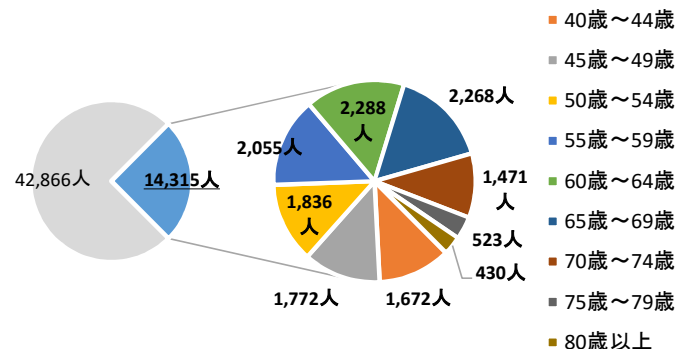
合計・男性・女性別いずれも年齢階層別にみると65歳～69歳、60歳～64歳、70歳～74歳の順に人数が多い状況でした。

⑧喫煙ありと回答した人数

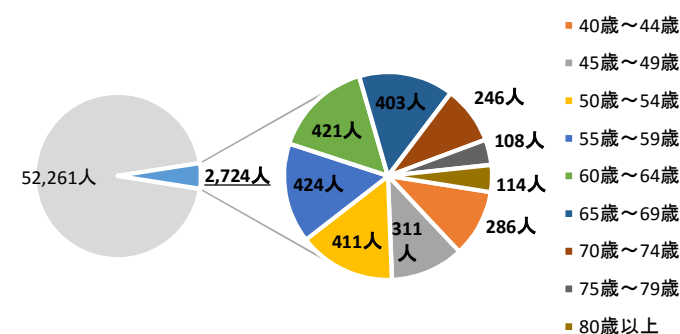
糖尿病境界域段階
喫煙あり年齢階層別人数(合計)



糖尿病境界域段階
喫煙あり年齢階層別人数(男性)



糖尿病境界域段階
喫煙あり年齢階層別人数(女性)

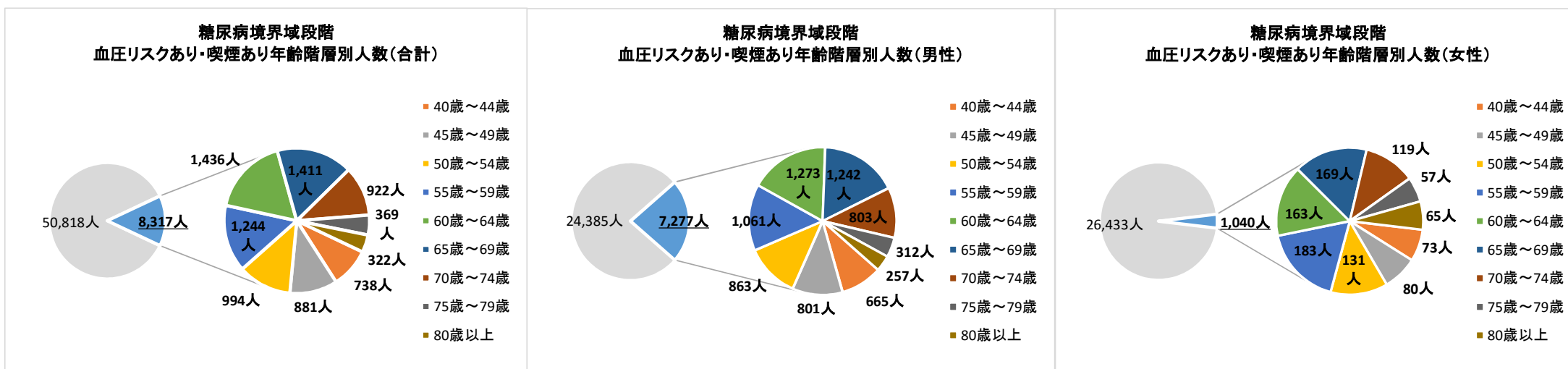


男女合計では、糖尿病境界域段階に分類される112,166人中17,039人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると15.2%となっています。年齢階層別にみると60歳～64歳、65歳～69歳、55歳～59歳の順に人数が多い状況でした。

男女別でみると、男性では糖尿病境界域段階に分類される57,181人中14,315人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると25%となっています。年齢階層別にみると60歳～64歳、65歳～69歳、55歳～59歳の順に人数が多い状況でした。

女性では糖尿病境界域段階に分類される54,985人中2,724人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると5%となっています。年齢階層別にみると55歳～59歳、60歳～64歳、50歳～54歳の順に人数が多い状況でした。

⑨ 血圧リスクあり・喫煙ありと回答した人数



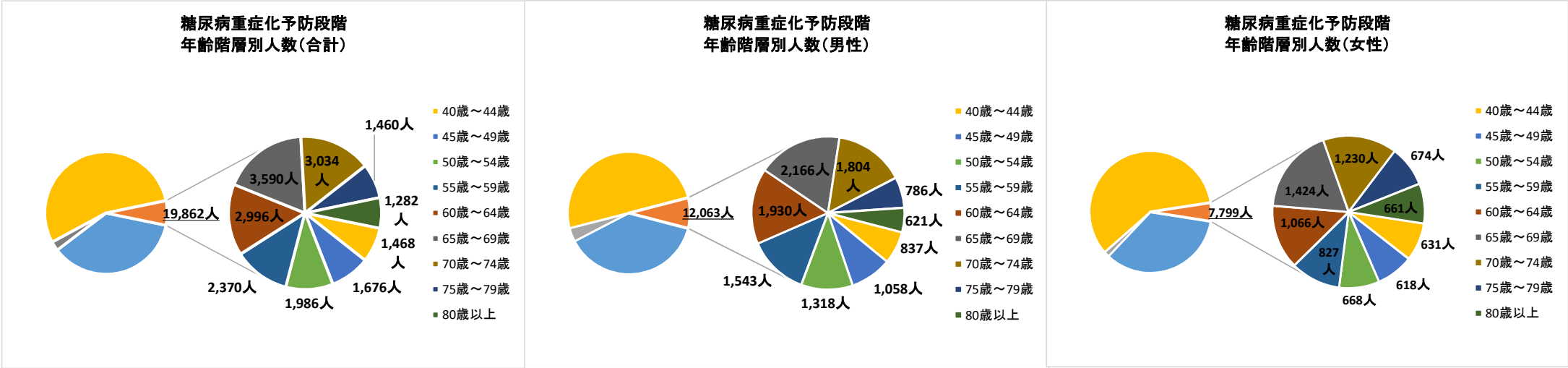
男女合計では、血圧リスク保有者59,135人中8,317人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると14.1%となっています。年齢階層別にみると60歳～64歳、65歳～69歳、55歳～59歳以上の順に人数が多い状況でした。

男女別で見ると、男性では血圧リスク保有者31,662人中7,277人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると23%となっています。年齢階層別にみると60歳～64歳、65歳～69歳、55歳～59歳以上の順に人数が多い状況でした。

女性では血圧リスク保有者27,473人中1,040人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると3.8%となっています。年齢階層別にみると55歳～59歳、65歳～69歳、60歳～64歳以上の順に人数が多い状況でした。

(4)糖尿病重症化予防段階

①年齢階層別の分類人数

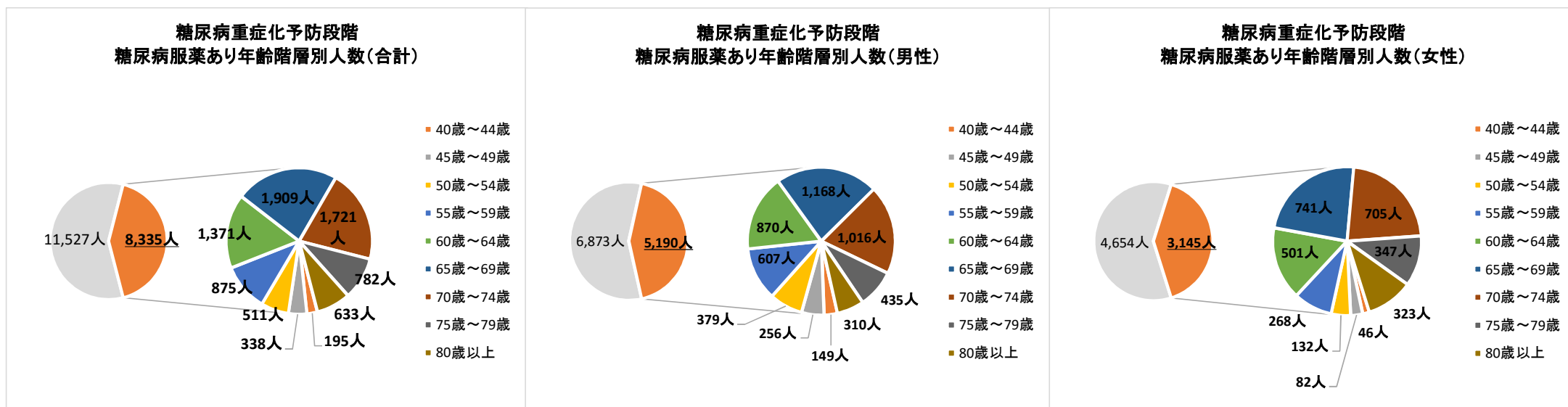


糖尿病重症化予防段階に分類される人数を男女合計・男性・女性別にみると、男女合計では健診受診者308,061人中19,862人で、健診受診者に対する割合は6.4%となっています。年齢階層別にみると、65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

男女別でみると、男性では健診受診者149,158人中12,063人で、割合は8.1%となっています。年齢階層別にみると、65歳～69歳、60歳～64歳、70歳～74歳の順に人数が多い状況でした。

女性では健診受診者158,903人中7,799人で、割合は4.9%となっています。年齢階層別にみると、65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

②糖尿病服薬ありと回答した人数

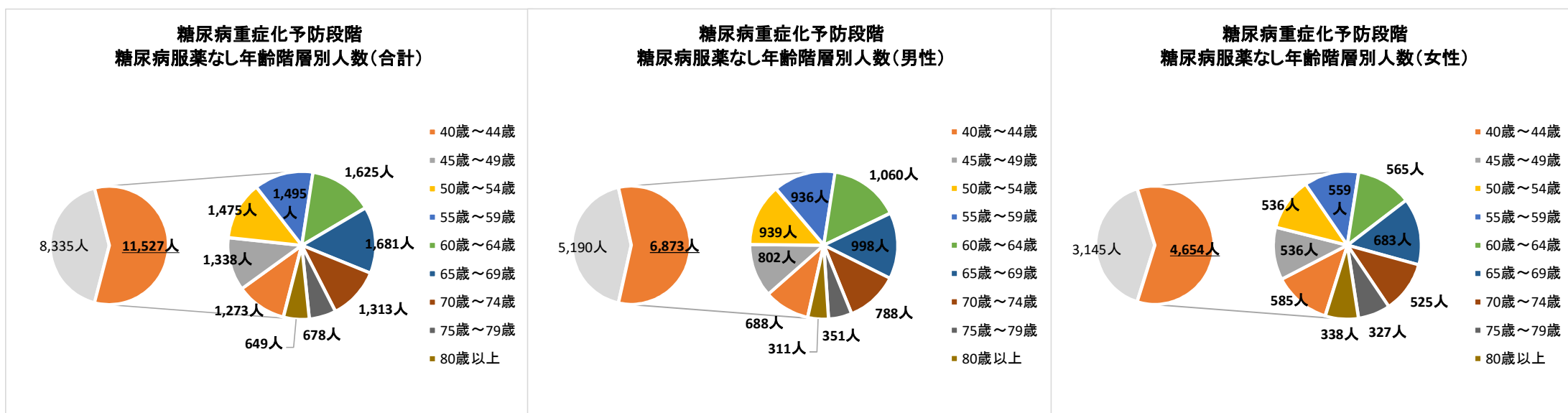


男女合計では、糖尿病重症化予防段階に分類される19,862人中8,335人が糖尿病服薬ありと回答しており、割合で見ると42%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

男女別でみると、男性では糖尿病重症化予防段階に分類される12,063人中5,190人が糖尿病服薬ありと回答しており、割合で見ると43%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

女性では糖尿病重症化予防段階に分類される7,799人中3,145人が糖尿病服薬ありと回答しており、割合で見ると40.3%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳以上の順に人数が多い状況でした。

③糖尿病服薬なしと回答した人数



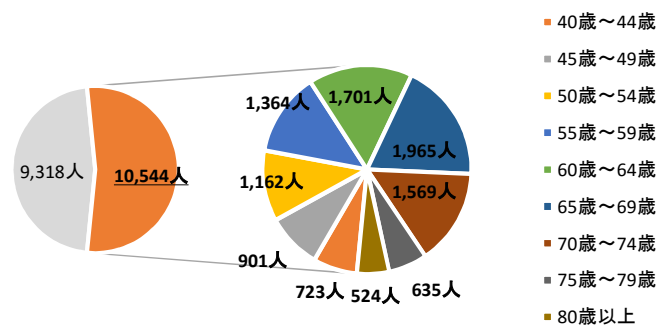
男女合計では、糖尿病重症化予防段階に分類される19,862人中11,527人が糖尿病服薬なしと回答しており、割合で見ると58%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、60歳～64歳、55歳～59歳の順に人数が多い状況でした。

男女別にみると、男性では糖尿病重症化予防段階に分類される12,063人中6,873人が糖尿病服薬なしと回答しており、割合で見ると57%となっています。年齢階層別にみると60歳～64歳、65歳～69歳、50歳～54歳の順に人数が多い状況でした。

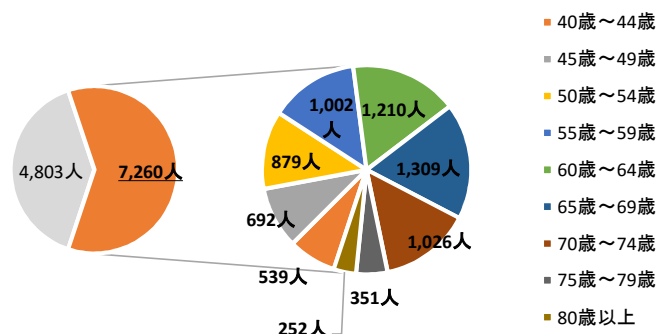
女性では糖尿病重症化予防段階に分類される7,799人中4,654人が糖尿病服薬なしと回答しており、割合で見ると59.7%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、60歳～64歳、55歳～59歳以上の順に人数が多い状況でした。

④メタボリックシンドロームリスク保有者数

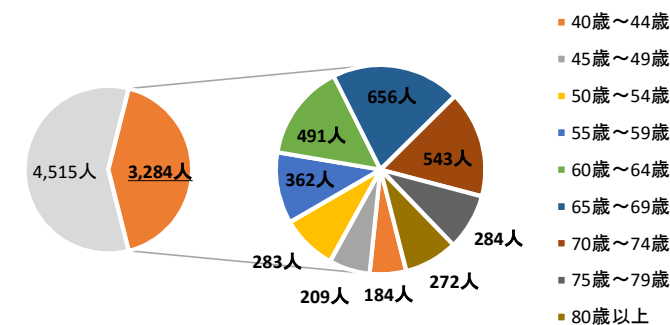
糖尿病重症化予防段階
メタボリスクあり年齢階層別人数(合計)



糖尿病重症化予防段階
メタボリスクあり年齢階層別人数(男性)



糖尿病重症化予防段階
メタボリスクあり年齢階層別人数(女性)

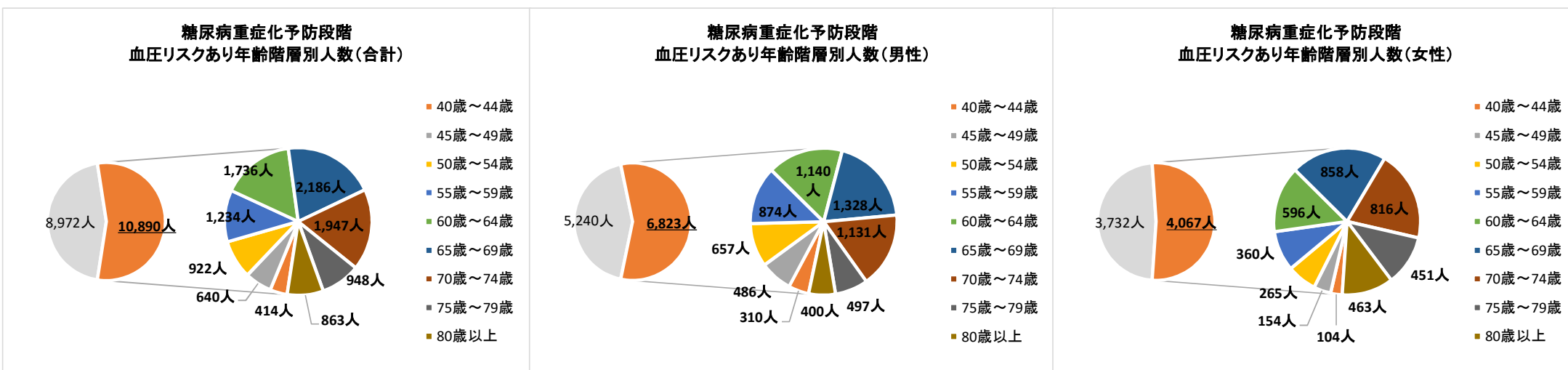


男女合計では、糖尿病重症化予防段階に分類される19,862人中10,544人がメタボリックシンドロームリスク保有者で、割合で見ると53.1%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、60歳～64歳、70歳～74歳の順に人数が多い状況でした。

男女別で見ると、男性では糖尿病重症化予防段階に分類される12,063人中7,260人がメタボリックシンドロームリスク保有者で、割合で見ると60.2%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、60歳～64歳、70歳～74歳の順に人数が多い状況でした。

女性では糖尿病重症化予防段階に分類される7,799人中3,284人がメタボリックシンドロームリスク保有者で、割合で見ると42.1%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

⑤ 血圧リスクありの人数

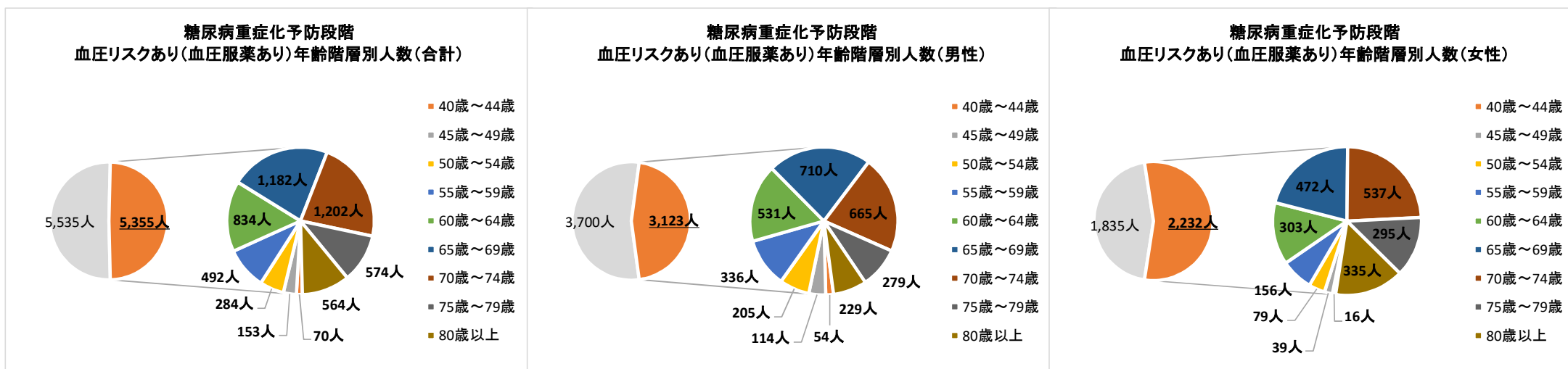


男女合計では、糖尿病重症化予防段階に分類される19,862人中10,890人が血圧リスク保有者で、割合で見ると54.8%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

男女別でみると、男性では糖尿病重症化予防段階に分類される12,063人中6,823人が血圧リスク保有者で、割合で見ると56.6%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、60歳～64歳、70歳～74歳の順に人数が多い状況でした。

女性では糖尿病重症化予防段階に分類される7,799人中4,067人が血圧リスク保有者で、割合で見ると52.1%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、80歳以上の順に人数が多い状況でした。

⑥ 血圧リスクあり・血圧服薬ありと回答した人数

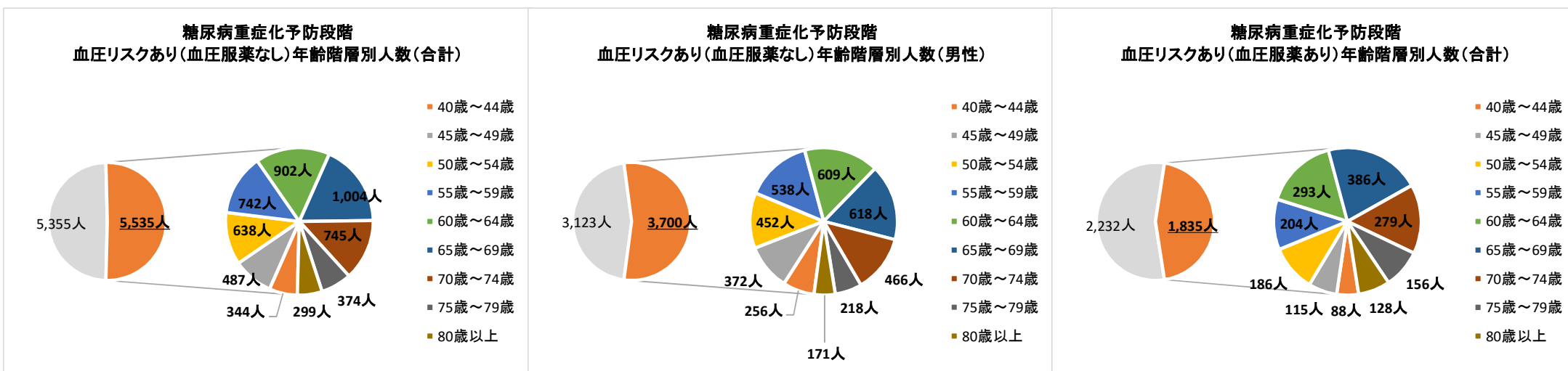


男女合計では、血圧リスク保有者10,890人中5,355人が血圧服薬ありと回答しており、割合で見ると49.2%となっています。年齢階層別にみると70歳～74歳、65歳～69歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

男女別で見ると、男性では血圧リスク保有者6,823人中3,123人が血圧服薬ありと回答しており、割合で見ると45.8%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

女性では血圧リスク保有者4,067人中2,232人が血圧服薬ありと回答しており、割合で見ると54.9%となっています。年齢階層別にみると70歳～74歳、65歳～69歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

⑦ 血圧リスクあり・血圧服薬なしと回答した人数



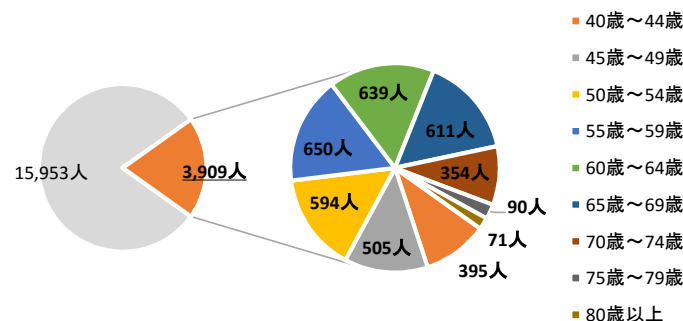
男女合計では、血圧リスク保有者10,890人中5,535人が血圧服薬なしと回答しており、割合で見ると50.8%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、60歳～64歳、70歳～74歳の順に人数が多い状況でした。

男女別で見ると、男性では血圧リスク保有者6,823人中3,700人が血圧服薬なしと回答しており、割合で見ると54.2%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、60歳～64歳、55歳～59歳の順に人数が多い状況でした。

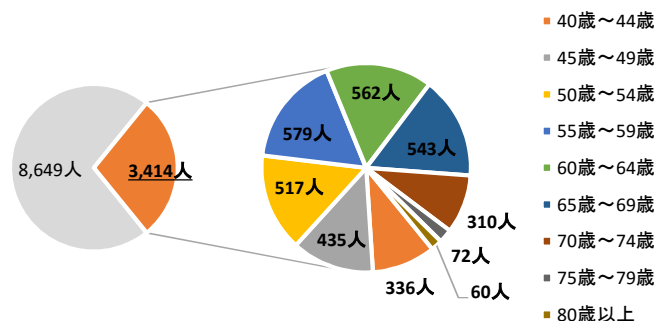
女性では血圧リスク保有者4,067人中1,835人が血圧服薬なしと回答しており、割合で見ると45.1%となっている。年齢階層別にみると65歳～69歳、60歳～64歳、70歳～74歳の順に人数が多い状況でした。

⑧喫煙ありと回答した人数

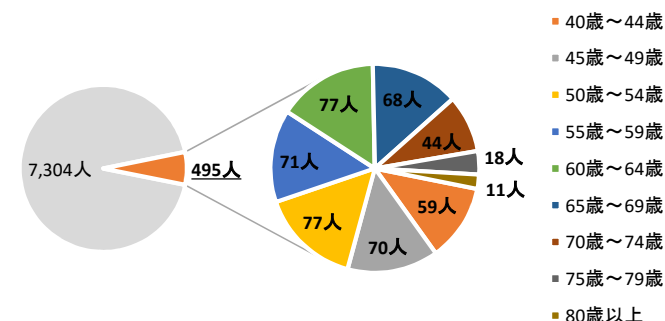
糖尿病重症化予防段階
喫煙あり年齢階層別人数(合計)



糖尿病重症化予防段階
喫煙あり年齢階層別人数(男性)



糖尿病重症化予防段階
喫煙あり年齢階層別人数(女性)

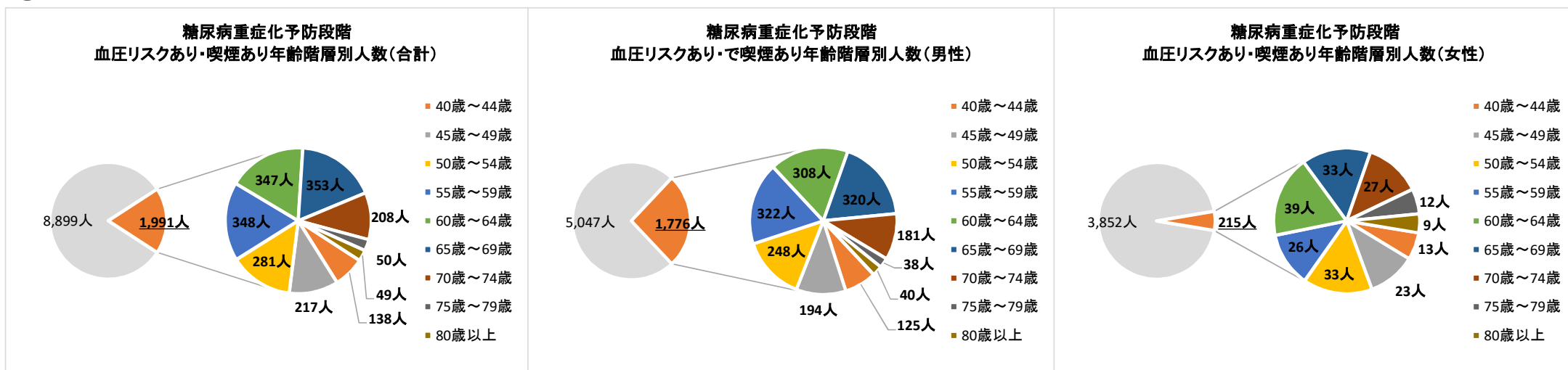


男女合計では、糖尿病重症化予防段階に分類される19,862人中3,909人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると19.7%となっています。年齢階層別にみると55歳～59歳、60歳～64歳、65歳～69歳の順に人数が多い状況でした。

男女別でみると、男性では糖尿病重症化予防段階に分類される12,063人中3,414人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると28.3%となっています。年齢階層別にみると55歳～59歳、60歳～64歳、65歳～69歳の順に人数が多い状況でした。

女性では糖尿病重症化予防段階に分類される7,799人中495人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると6.3%となっています。年齢階層別にみると50歳～54歳、60歳～64歳、55歳～59歳の順に人数が多い状況でした。

⑨ 血圧リスクあり・喫煙ありと回答した人数



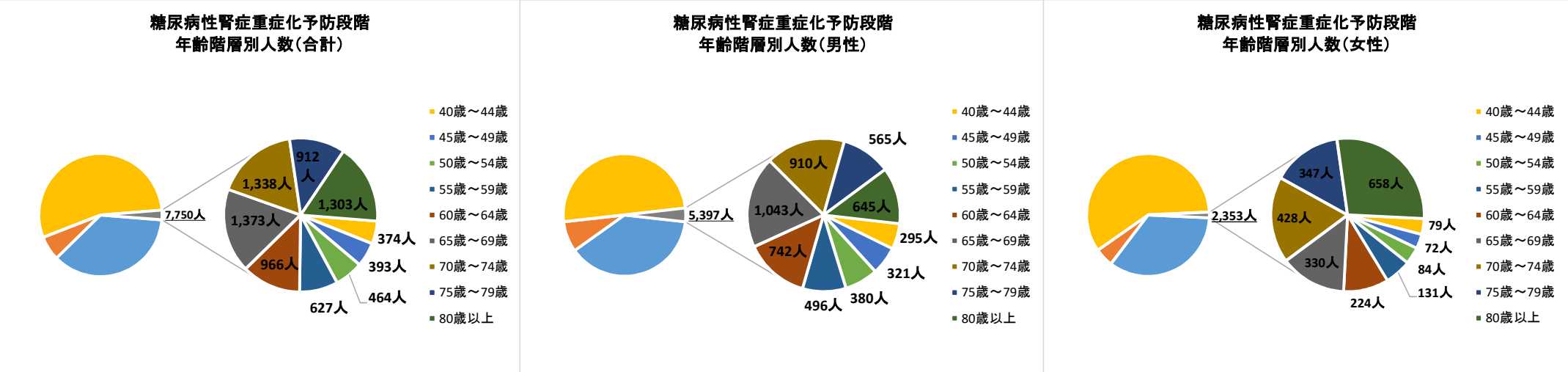
男女合計では、血圧リスク保有者10,890人中1,991人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると18.3%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、55歳～59歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

男女別で見ると、男性では血圧リスク保有者6,823人中1,776人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると26%となっています。年齢階層別にみると55歳～59歳、65歳～69歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

女性では血圧リスク保有者4,067人中215人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると5.3%となっています。年齢階層別にみると60歳～64歳、50歳～54歳、65歳～69歳の順に人数が多い状況でした。

(5)糖尿病性腎症重症化予防段階

①年齢階層別の分類人数



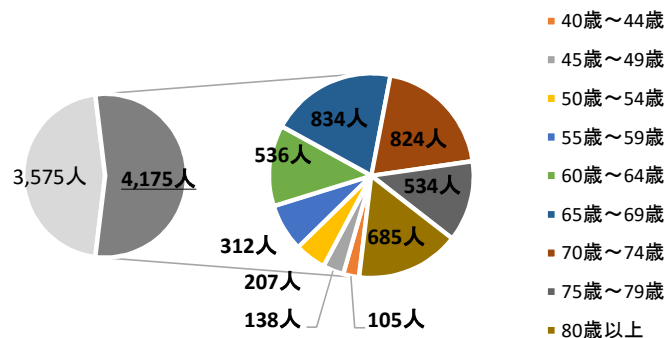
糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される人数を男女合計・男性・女性別にみると、男女合計では健診受診者308,061人中7,750人で、健診受診者に対する割合は2.5%となっています。年齢階層別にみると、65歳～69歳、70歳～74歳、80歳以上の順に人数が多い状況でした。

男女別でみると、男性では健診受診者149,158人中5,397人で、割合は3.6%となっています。年齢階層別にみると、65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

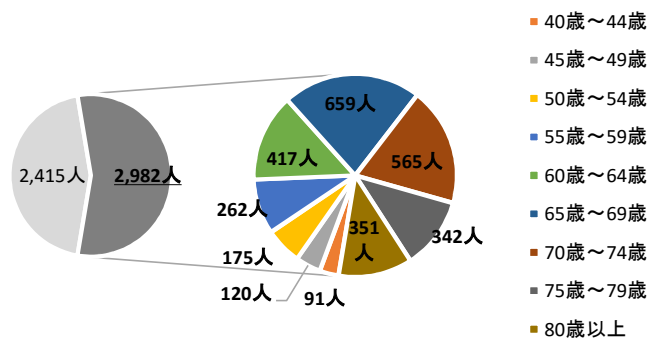
女性では健診受診者158,903人中2,353人で、割合は1.5%となっています。年齢階層別の人数にみると、70歳～74歳、65歳～69歳、80歳以上の順に人数が多い状況でした。

②糖尿病服薬ありと回答した人数

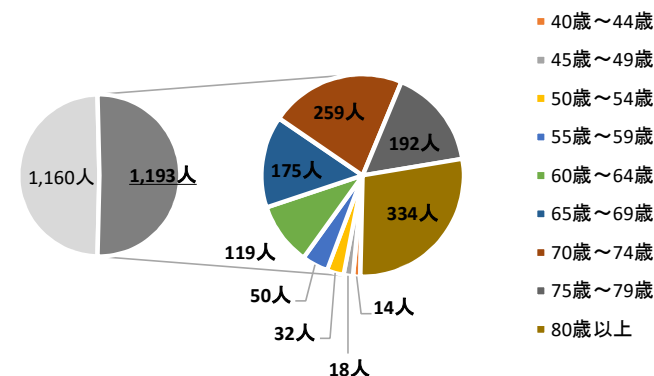
糖尿病性腎症重症化予防段階
糖尿病服薬あり年齢階層別人数(合計)



糖尿病性腎症重症化予防段階
糖尿病服薬あり年齢階層別人数(男性)



糖尿病性腎症重症化予防段階
糖尿病服薬あり年齢階層別人数(女性)



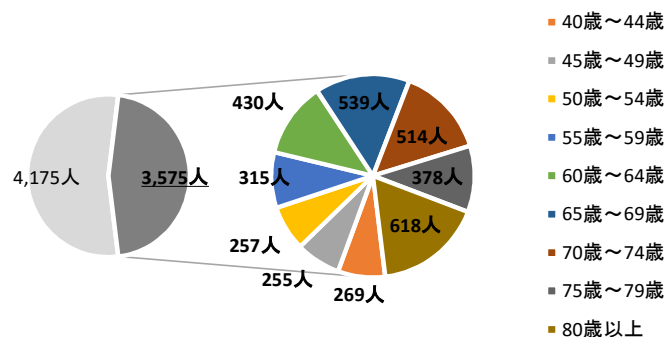
男女合計では、糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される7,750人中4,175人が糖尿病服薬ありと回答しており、割合で見ると53.9%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、80歳以上の順に人数が多い状況でした。

男女別でみると、男性では糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される5,397人中2,982人が糖尿病服薬ありと回答しており、割合で見ると55.3%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

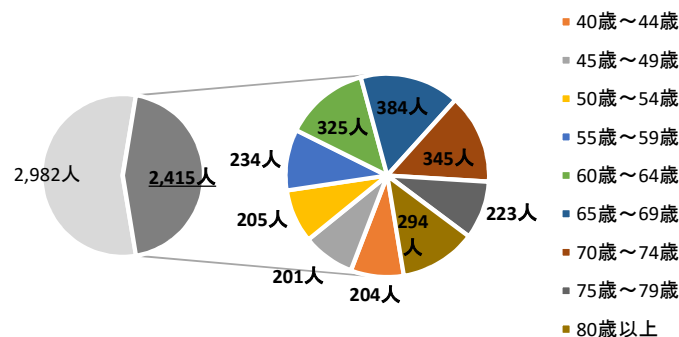
女性では糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される2,353人中1,193人が糖尿病服薬ありと回答しており、割合で見ると50.7%となっています。年齢階層別にみると80歳以上、70歳～74歳、75歳～79歳の順に人数が多い状況でした。

③糖尿病服薬なしと回答した人数

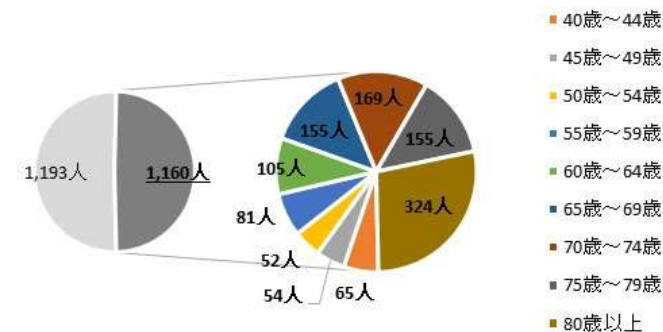
糖尿病性腎症重症化予防段階
糖尿病服薬なし年齢階層別人数(合計)



糖尿病性腎症重症化予防段階
糖尿病服薬なし年齢階層別人数(男性)



糖尿病性腎症重症化予防段階
糖尿病服薬なし年齢階層別人数(女性)

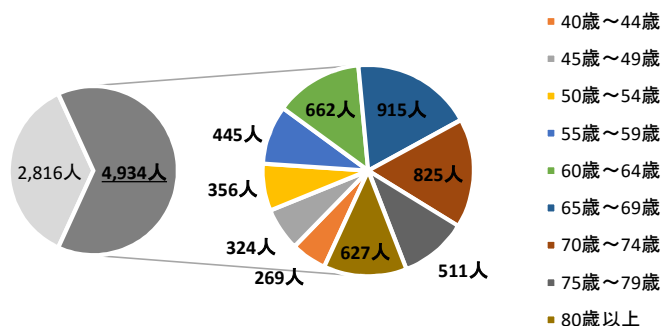


男女合計では、糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される7,750人中3,575人が糖尿病服薬なしと回答しており、割合で見ると46.1%となっています。年齢階層別にみると80歳以上、65歳～69歳、70歳～74歳の順に人数が多い状況でした。男女別で見ると、男性では糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される5,397人中2,415人が糖尿病服薬なしと回答しており、割合で見ると44.7%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

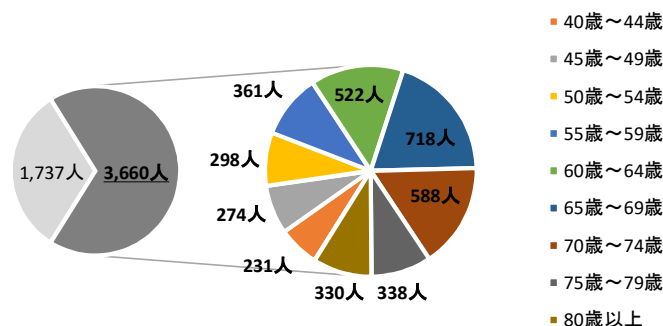
女性では糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される2,353人中1,160人が糖尿病服薬なしと回答しており、割合で見ると49.3%となっています。年齢階層別にみると80歳以上、70歳～74歳、65歳～69歳・5歳～79歳の順に人数が多い状況でした。

④メタボリックシンドロームリスク保有者数

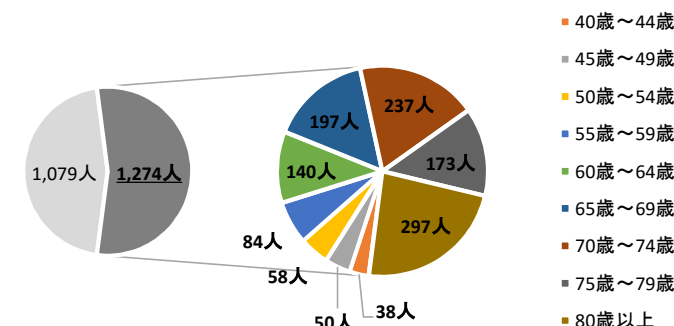
糖尿病性腎症重症化予防段階
メタボリスクあり年齢階層別人数(合計)



糖尿病性腎症重症化予防段階
メタボリスクあり年齢階層別人数(男性)



糖尿病性腎症重症化予防段階
メタボリスクあり年齢階層別人数(女性)



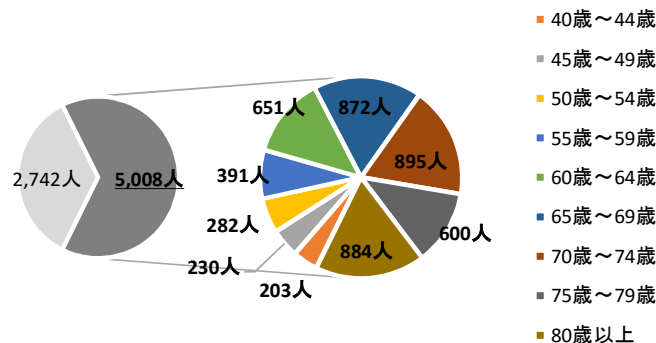
男女合計では、糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される7,750人中4,934人がメタボリックシンドロームリスク保有者で、割合で見ると63.7%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

男女別で見ると、男性では糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される5,397人中3,660人がメタボリックシンドロームリスク保有者で、割合で見ると67.8%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

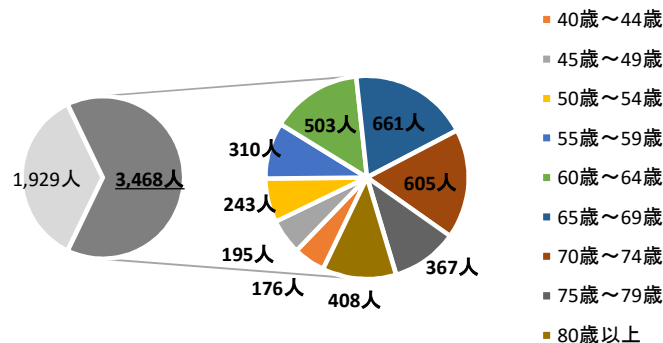
女性では糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される2,353人中1,274人がメタボリックシンドロームリスク保有者で、割合で見ると54.1%となっています。年齢階層別にみると80歳以上、70歳～74歳、65歳～69歳の順に人数が多い状況でした。

⑤ 血圧リスクありの人数

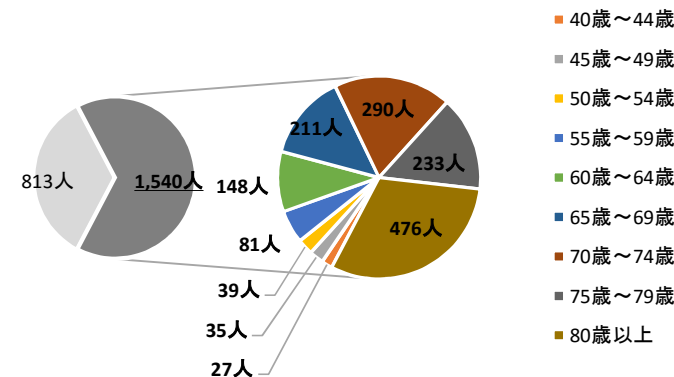
糖尿病性腎症重症化予防段階
血圧リスクあり年齢階層別人数(合計)



糖尿病性腎症重症化予防段階
血圧リスクあり年齢階層別人数(男性)



糖尿病性腎症重症化予防段階
血圧リスクあり年齢階層別人数(女性)

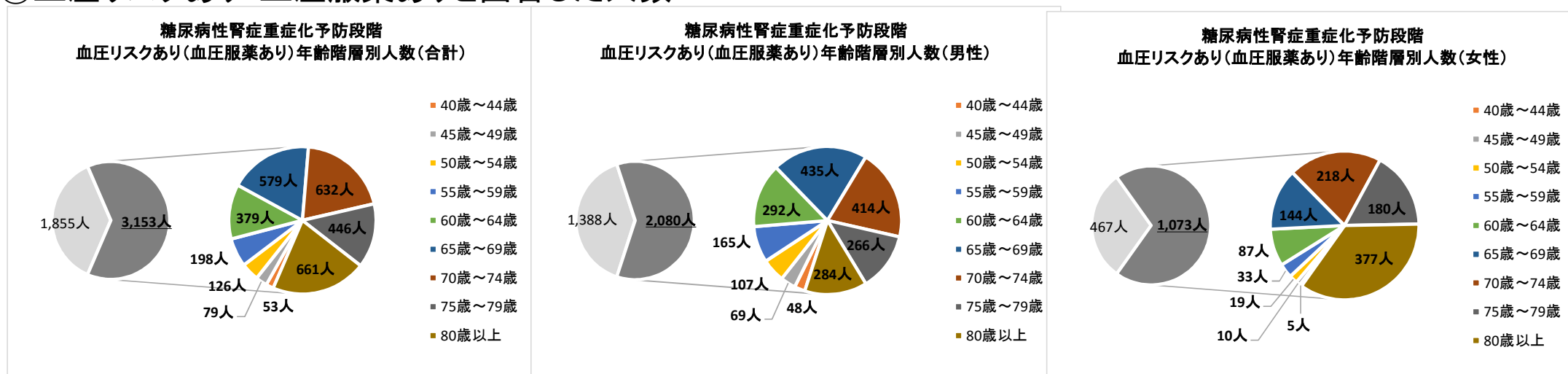


男女合計では、糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される7,750人中5,008人が血圧リスク保有者で、割合で見ると64.6%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

男女別で見ると、男性では糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される5,397人中3,468人が血圧リスク保有者で、割合で見ると64.3%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、60歳～64歳、70歳～74歳の順に人数が多い状況でした。

女性では糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される2,353人中1,540人が血圧リスク保有者で、割合で見ると65.4%となっています。年齢階層別にみると80歳以上、70歳～74歳、75歳～79歳の順に人数が多い状況でした。

⑥ 血圧リスクあり・血圧服薬ありと回答した人数

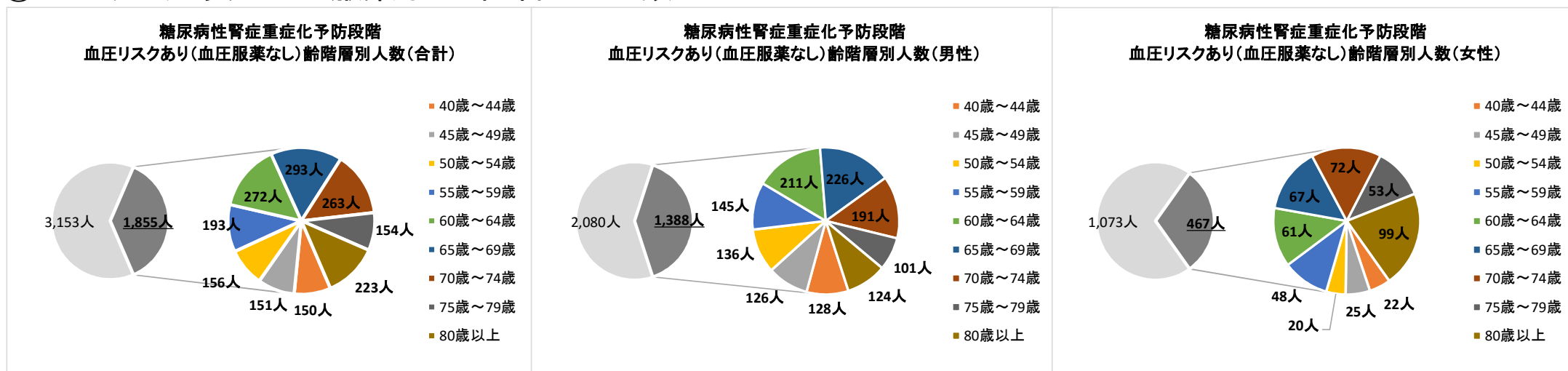


男女合計では、糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される血圧リスク保有者5,008人中3,153人が血圧服薬ありと回答しており、割合で見ると63%となっています。年齢階層別にみると80歳以上、70歳～74歳、65歳～69歳の順に人数が多い状況でした。

男女別で見ると、男性では血圧リスク保有者3,468人中2,080人が血圧服薬ありと回答しており、割合で見ると60%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、70歳～74歳、60歳～64歳の順に人数が多い状況でした。

女性では血圧リスク保有者1,540人中1,073人が血圧服薬ありと回答しており、割合で見ると69.7%となっています。年齢階層別にみると80歳以上、70歳～74歳、75歳～79歳の順に人数が多い状況でした。

⑦ 血圧リスクあり・血圧服薬なしと回答した人数



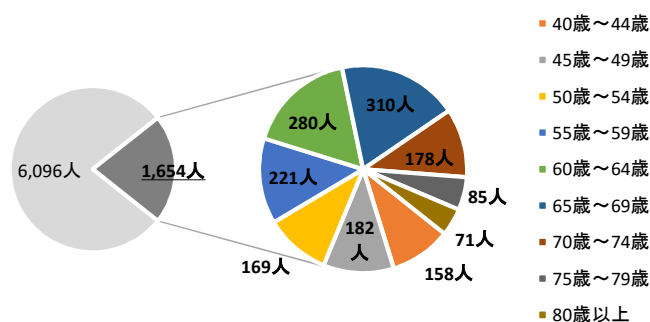
男女合計では、血圧リスク保有者5,008人中1,855人が血圧服薬ありと回答しており、割合で見ると37%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、60歳～64歳、70歳～74歳の順に人数が多い状況でした。

男女別で見ると、男性では血圧リスク保有者3,468人中1,388人が血圧服薬なしと回答しており、割合で見ると40%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、60歳～64歳、70歳～74歳の順に人数が多い状況でした。

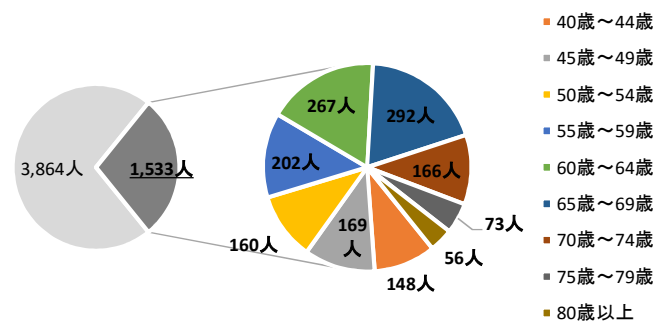
女性では血圧リスク保有者1,540人中467人が血圧服薬なしと回答しており、割合で見ると30.3%となっている。年齢階層別にみると80歳以上、70歳～74歳、65歳～69歳の順に人数が多い状況でした。

⑧喫煙ありと回答した人数

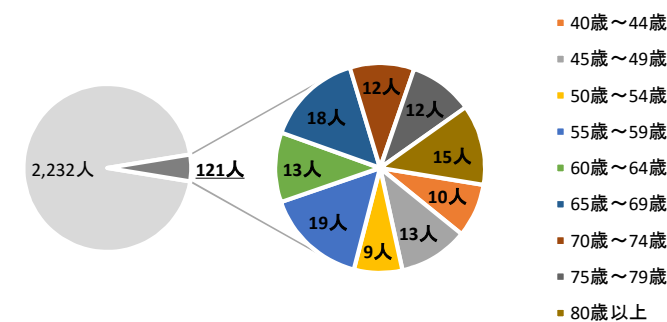
糖尿病性腎症重症化予防段階
喫煙あり年齢階層別人数(合計)



糖尿病性腎症重症化予防段階
喫煙あり年齢階層別人数(男性)



糖尿病性腎症重症化予防段階
喫煙あり年齢階層別人数(女性)

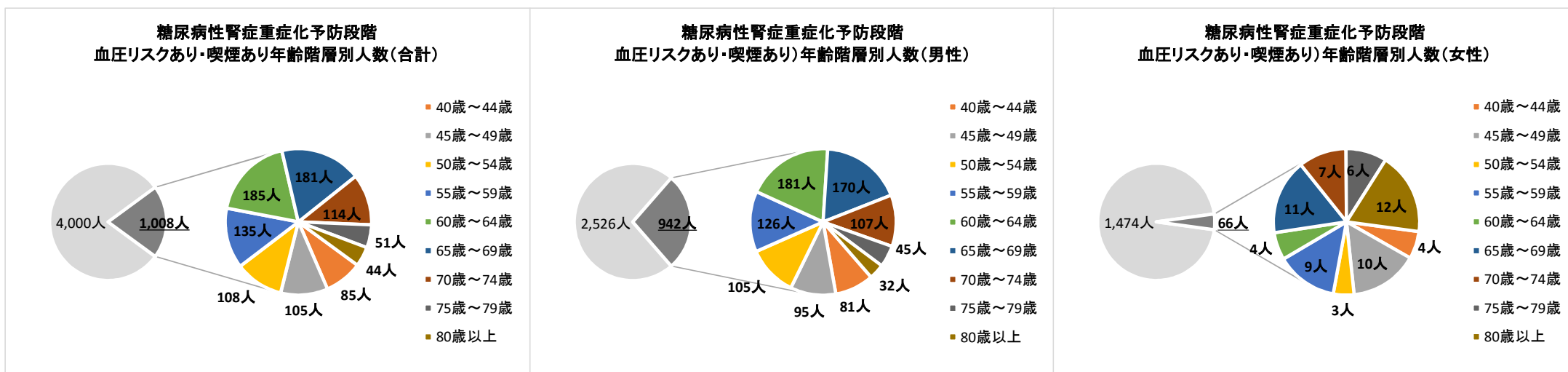


男女合計では、糖尿病性腎症重症化予防段階に分類される7,750人中1,654人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると21.3%となっています。年齢階層別にみると60歳～64歳、65歳～69歳、55歳～59歳の順に人数が多い状況でした。

男女別で見ると、男性では、5,397人中1,533人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると28.4%となっています。年齢階層別にみると60歳～64歳、65歳～69歳、55歳～59歳の順に人数が多い状況でした。

女性では、2,353人中121人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると5.1%となっています。年齢階層別にみると80歳以上、65歳～69歳、45歳～49歳の順に人数が多い状況でした。

⑨ 血圧リスクあり・喫煙ありと回答した人数



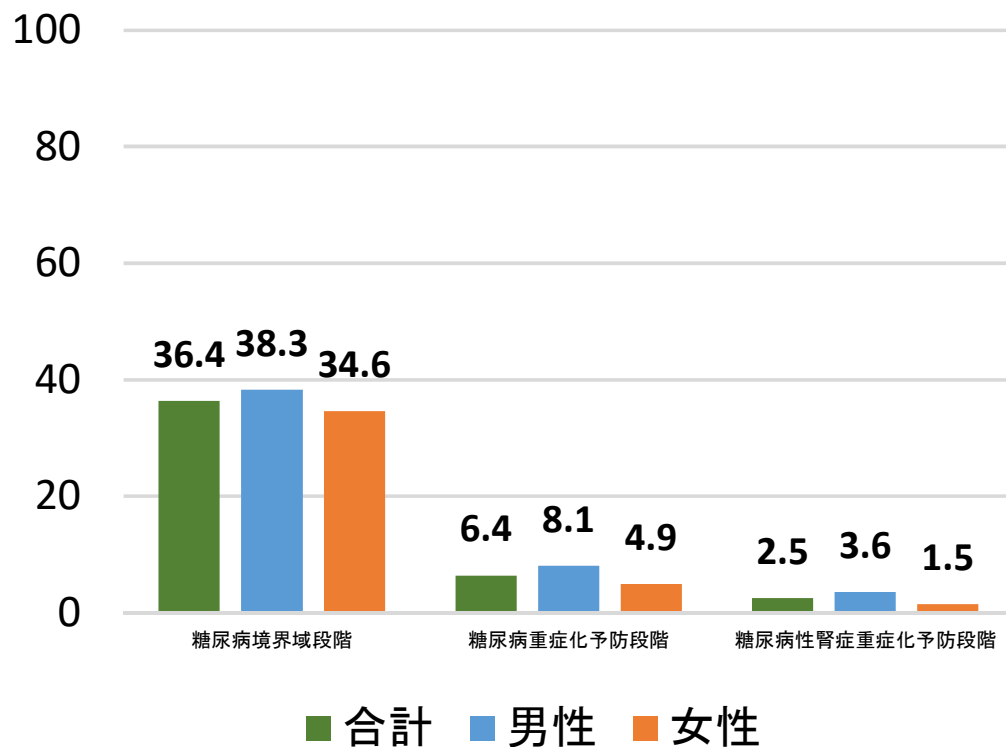
男女合計では、血圧リスク保有者5,008人中1,008人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると20.1%となっています。年齢階層別にみると65歳～69歳、60歳～64歳、70歳～74歳の順に人数が多い状況でした。

男女別で見ると、男性では血圧リスク保有者3,468人中942人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると27.2%となっています。年齢階層別にみると60歳～64歳65歳～69歳、55歳～59歳の順に人数が多い状況でした。

女性では血圧リスク保有者1,540人中66人が喫煙ありと回答しており、割合で見ると4.3%となっています。年齢階層別にみると80歳以上、65歳～69歳、45歳～49歳の順に人数が多い状況でした。

5. データ分析結果

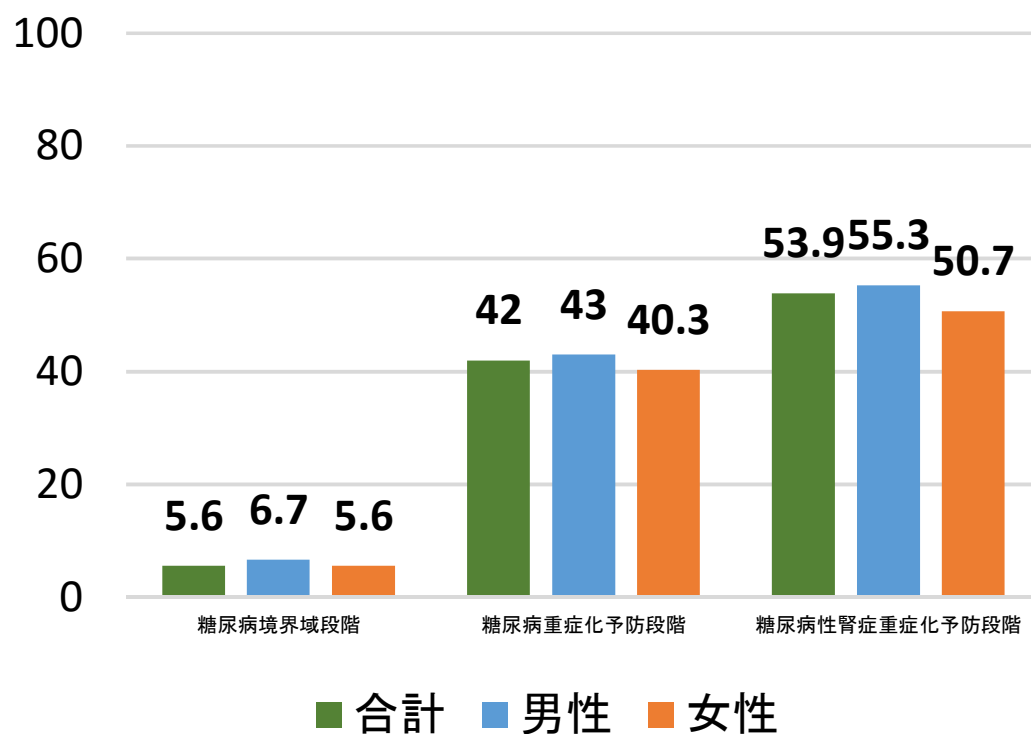
基準別分類割合



○健診受診者のうち糖尿病重症化予防プログラムの基準別段階の中で、糖尿病境界域段階に分類される者は男女合計で36.4%と最も多く、男性は38.3%、女性は34.6%でした。

○プログラム基準段階が上がるほど分類される割合は少なくなるものの、いずれの段階においても男性が多い状況でした。

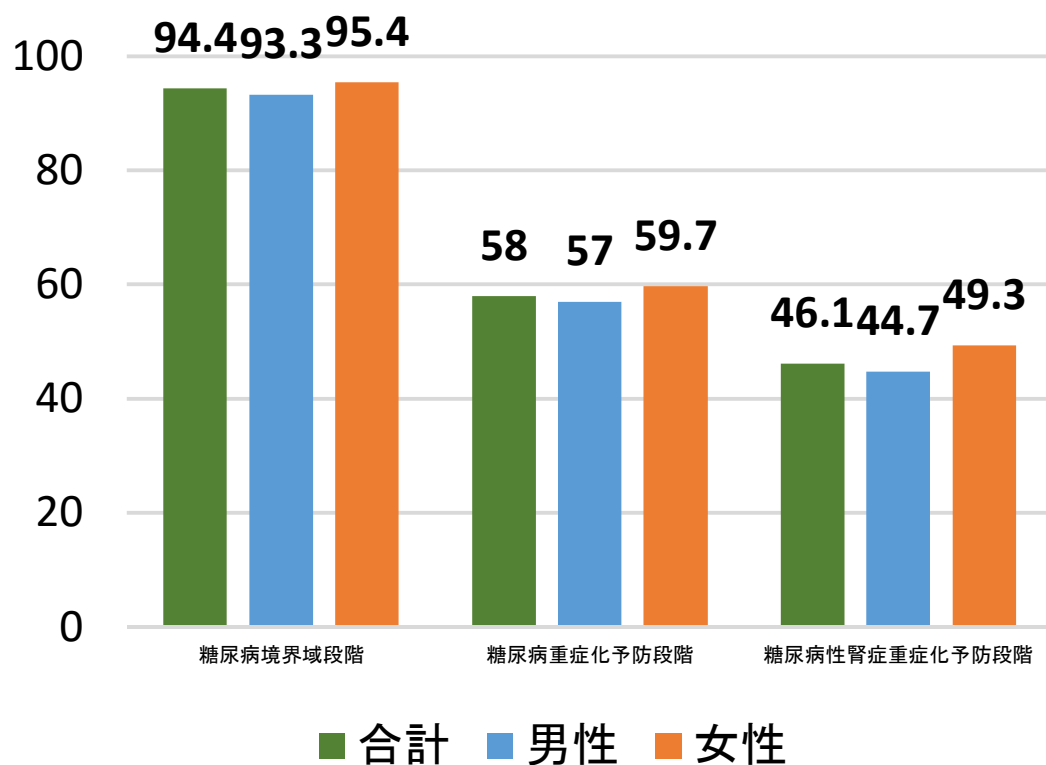
糖尿病服薬あり割合



○「糖尿病服薬あり」と回答した者は、糖尿病重症化予防段階では、男性は43%、女性は40.3%、糖尿病性腎症重症化予防段階では、男性は55.3%、女性は50.7%となっている状況でした。

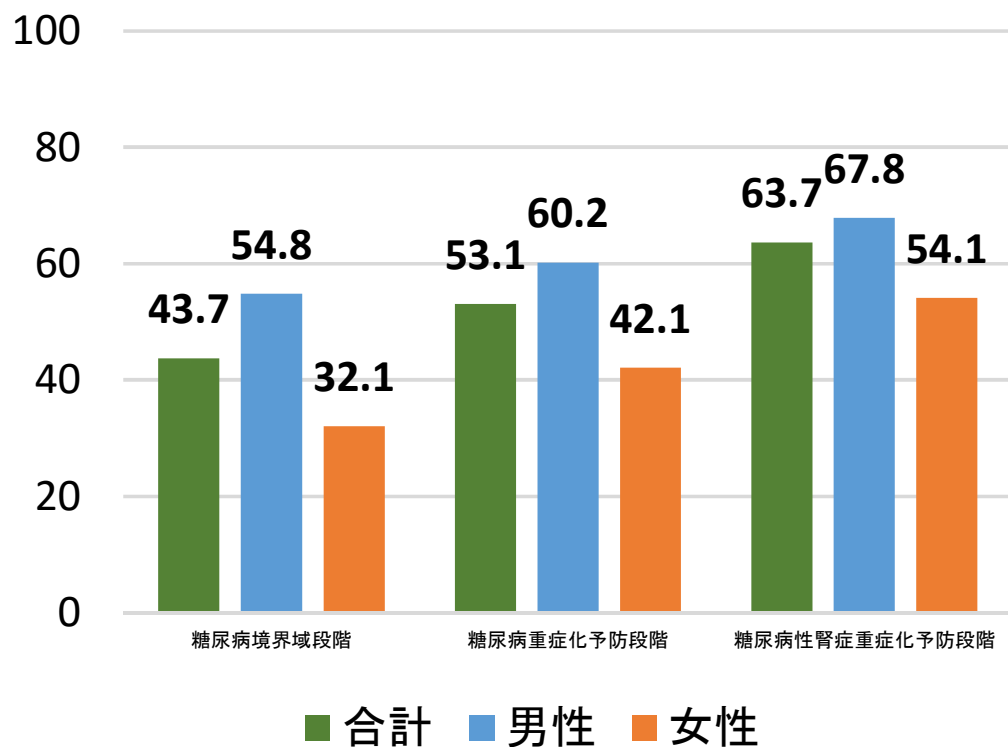
○また、プログラム基準段階が上がるほど男性・女性ともに糖尿病の治療を受けている者の割合が多い状況でした。

糖尿病服薬なし割合



○「糖尿病服薬なし」と回答した者は、糖尿病重症化予防段階では、男性は57%、女性は59.7%、糖尿病性腎症重症化予防段階では、男性は44.7%、女性は49.3%となっている状況でした。

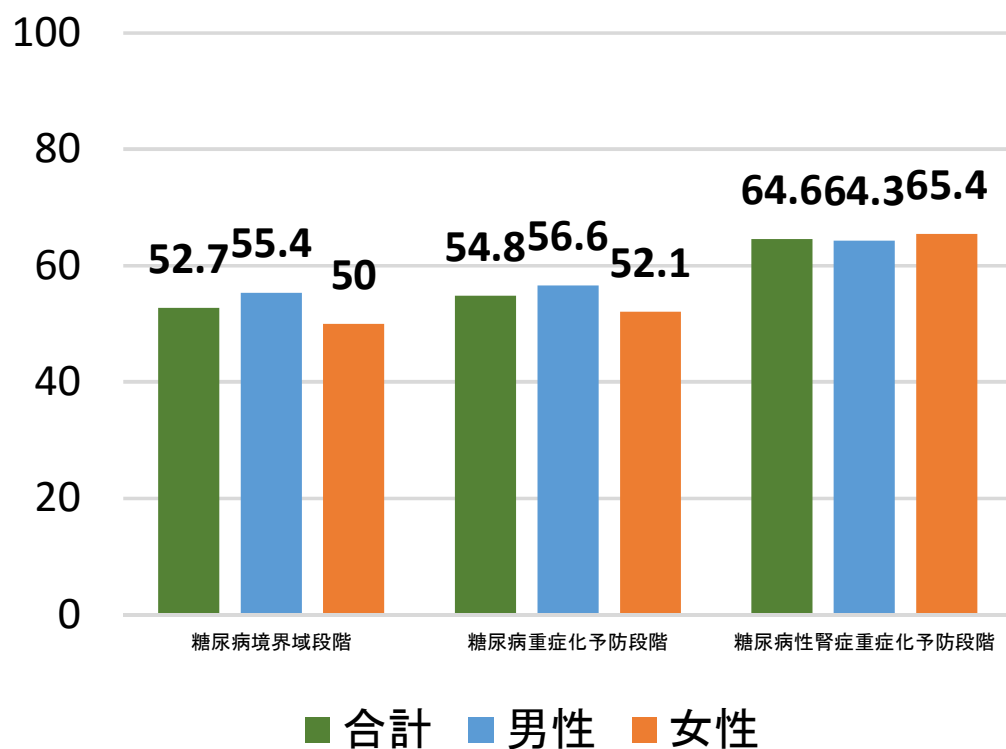
メタボリスクあり保有割合



○「メタボリックシンドロームリスクあり」と判定される者は、いずれの段階においても男性は50%以上を占めている状況でした。

○プログラム基準段階が上がるほど、「メタボリックシンドロームリスクあり」と判定される者は、男性・女性ともに割合が多い状況でした。

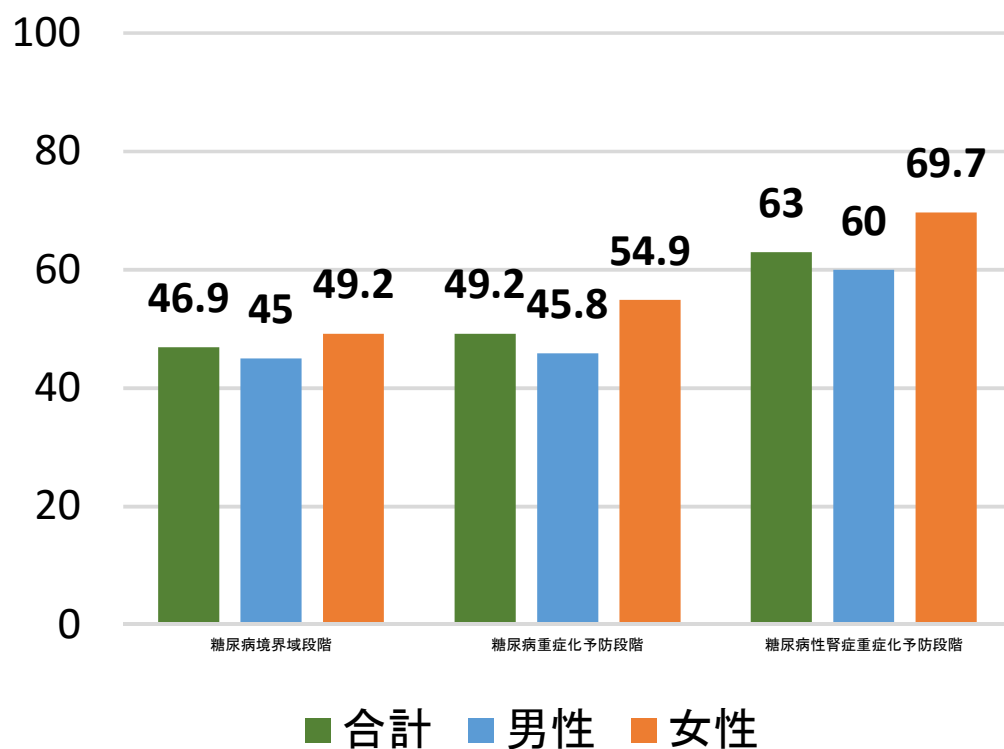
血圧リスク保有割合



○「血圧リスクあり」と判定される者は、いずれの段階においても男女ともに50%以上を占めている状況でした。

○また、プログラム基準段階が上がるほど男性・女性ともに「血圧リスクあり」と判定される者が多い状況でした。

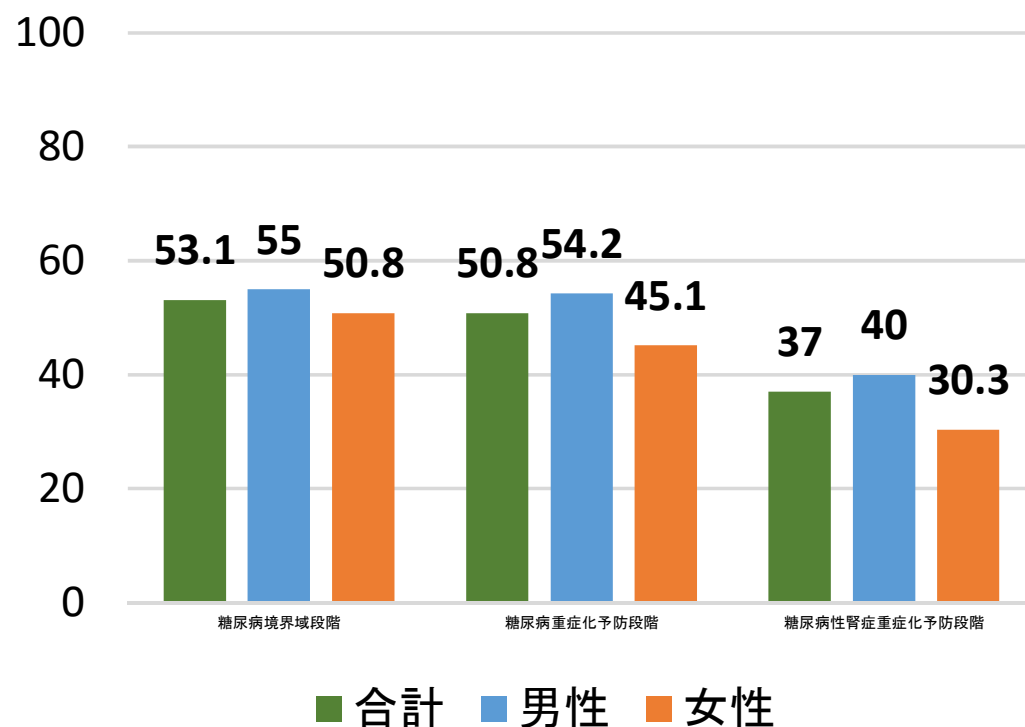
血圧リスクあり・血圧服薬あり割合



○「血圧リスクあり・血圧服薬あり」と回答した者は、プログラム基準段階が上がるほど高血圧の治療を受けている者が多く、糖尿病性腎症重症化予防段階では、「血圧リスクあり」と判定される者のうち男性は60%、女性は69.7%でした。

○「血圧リスクあり」の割合でみた場合は、男女に大きな差はなかったものの、血圧服薬を含めると「血圧服薬あり」の割合は、いずれの段階においても女性が多い状況でした。

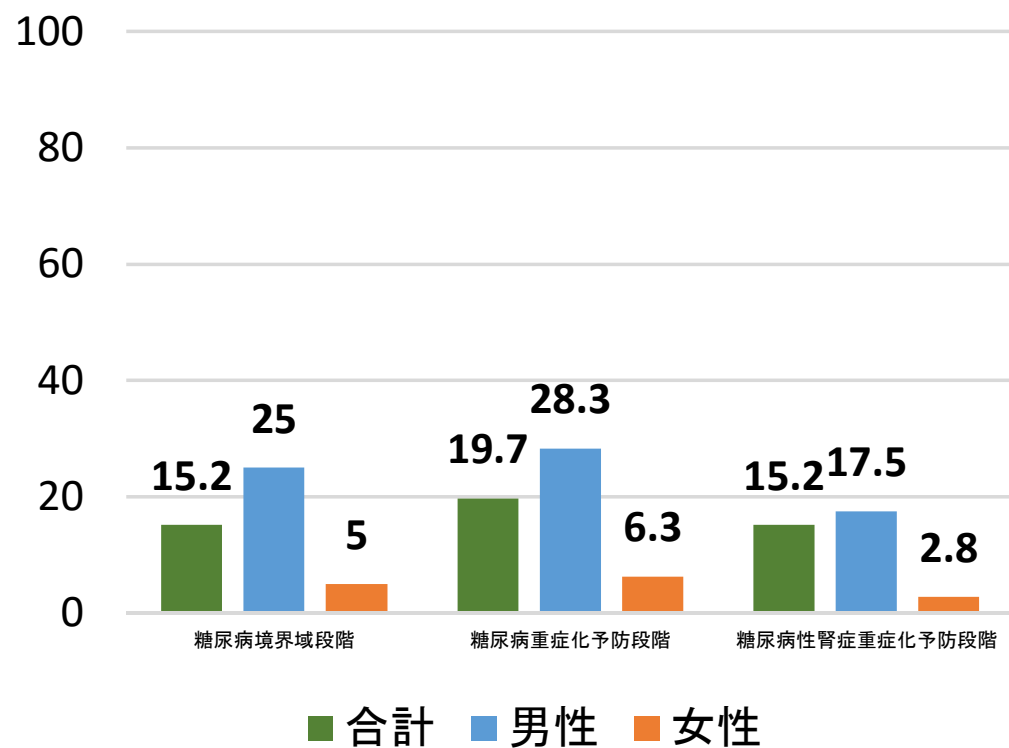
血圧リスクあり・血圧服薬なし割合



○「血圧リスクあり・血圧服薬なし」と回答した者は、プログラム基準段階が上がるほど割合が低い状況でした。

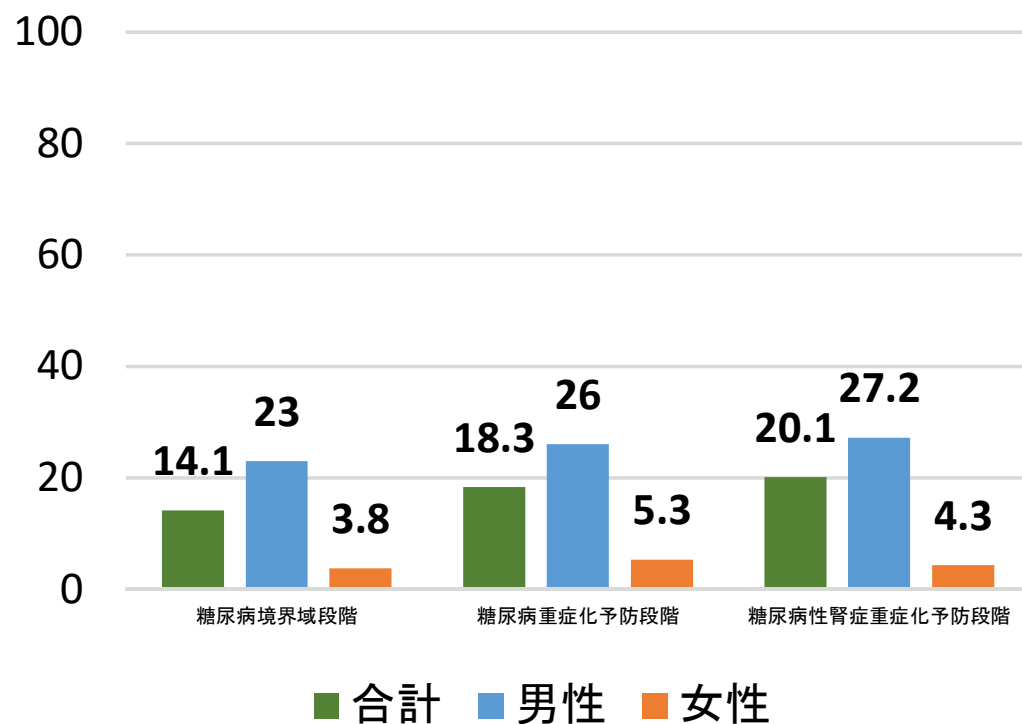
○特に、糖尿病性腎症重症化予防段階において、男性40%、女性30.3%の者は、血圧リスクがあるが「血圧服薬なし」と回答した状況でした。

喫煙あり割合



○喫煙ありと回答した者の割合は、プログラム基準のいずれの段階においても男性が多い状況でした。

血圧リスクあり・喫煙あり割合



○血圧リスク保有者(収縮期130mmHg 以上又は拡張期85mmHg 以上)で、喫煙ありと回答している者は、喫煙ありの割合と同様にプログラム基準のいずれの段階においても男性が多い状況でした。

6. 考察

○各段階に分類され「メタボリックシンドロームリスクあり」と判定される者は、いずれの段階においても、男性は50～60%以上を占めており、段階が上がるほど「メタボリックシンドロームリスクあり」と判定される者の割合は高くなることから、糖尿病の発症・重症化予防とあわせて肥満予防の対策が重要であると考えられます。

○各段階に分類され「血圧リスクあり」と判定される者は、いずれの段階においても、男女ともに50～60%以上を占めており、段階が上がるほど「血圧リスクあり」と判定されるものの者の割合は男女ともに高くなることから、正常な血圧を維持していくことが糖尿病の発症・重症化予防に重要であると考えられます。

○各段階に分類される60歳以上の男女の割合は、糖尿病境界域段階70.9%、糖尿病重症化予防段階62.2%、糖尿病性腎症重症化予防段階76%と高い状況にあることから、40～50歳代のうちから糖尿病の基礎知識や合併症の危険性等の正しい理解、生活習慣改善方法等のポピュレーションアプローチを継続して行っていくことが必要であると考えられます。

○糖尿病重症化予防段階に分類され「糖尿病服薬なし」と回答した者は、男性57%、女性59.7%、糖尿病性腎症重症化予防段階では、男性44.7%、女性49.3%となっていますが、今回の分析では医療機関の受診状況を把握することはできないため、今後、レセプトデータとの突合による分析を行い、「医療機関受診なし、糖尿病服薬なし」の者を各保険者にて抽出し、早期に医療機関受診につなぐことで糖尿病の発症・重症化を予防していくことが重要であると考えられます。